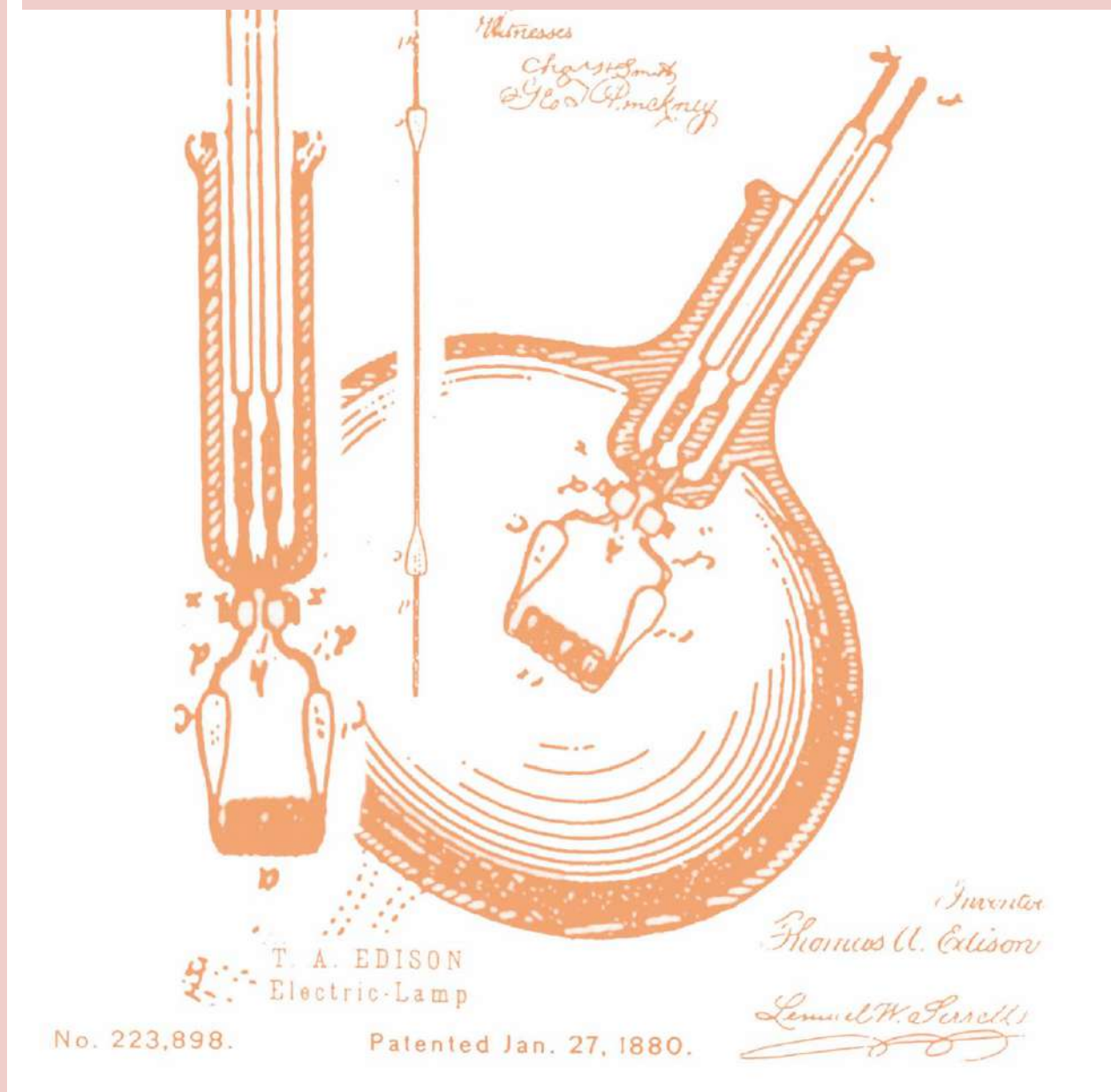


西日本クラブ



2025年

2025
Vol. 49



西日本弁理士クラブ

2025(令和7年)年9月9日発行
(通巻89号)

<https://nishiben.net/>

2025
Vol.49

令和8年度日本弁理士会役員定時選挙

郵便投票だけです。

投票用紙の送付

令和7年9月19日

選挙管理委員会より選挙人宛てに投票用紙、
内封筒、外封筒及び候補者名簿が送付

投票期間

令和7年9月27日(土)～

同年10月9日(木)午後5時到着まで

投票締め切り日時までに選挙管理委員会へ到
達するように郵送下さい

投票用紙に候補者の氏名を自書して下さい。
投票用紙を所定の内封筒に入れたうえで、
これを所定の外封筒に入れて下さい。
切手を貼らずに郵便ポストに投函して下さい。

ご不明な点があれば、西日本弁理士クラブ
選挙対策委員会の臼井尚まで、以下の電話で
お問い合わせ下さい。

TEL:06-6764-6664

CONTENTS

CONTENTS (目次)	1
幹事長挨拶	村上 太郎 2
選対副幹事長挨拶	臼井 尚 3
副会長立候補挨拶	永田 元昭 4
副会長候補推薦の言葉	山本 宗雄 5
副会長立候補挨拶	上羽 秀敏 6
副会長候補推薦の言葉	伊藤 英彦 7
監事立候補挨拶	田中 達也 8
監事候補推薦の言葉	松井 宏記 9
関西選挙区常議員立候補挨拶および推薦の言葉	
立候補挨拶	高山 裕貢 10
推薦の言葉	中川 雅博 10
立候補挨拶	小澤 壮夫 11
推薦の言葉	山根 広昭 11
立候補挨拶	井崎 愛佳 12
推薦の言葉	鯨島 武信 12
立候補挨拶	数 慎吾 13
推薦の言葉	丹野 寿典 13
立候補挨拶	中川 秀人 14
推薦の言葉	北原 宏修 14
立候補挨拶	青木 寛史 15
推薦の言葉	北野 修平 15
九州選挙区常議員立候補挨拶	
立候補挨拶	隅田 俊隆 16
推薦の言葉	羽立 幸司 16
投票要領	17
若手会特集	関口 皓太 18
クラブ活動報告	
選対	臼井 尚 20
渉外	鈴木 一晃 21
政策	宮崎 栄二 22
親睦	赤木 信行 23
人事	明田 佳久 26
総務	右田 敏之 27
研修	米口 麻子 28
財務	寺本 亮 29
会員管理	齊藤 智和 30
広報	川畑 孝二 32
地域	河野 広明 33
新人	関口 皓太 34
同好会だより	
ハイキング同好会	板谷 真之 35
テニス同好会	田中 聡 36
麻雀同好会	矢野 浩太郎 37
ゴルフ同好会	川畑 孝二 38
雪山同好会	北原 宏修 39
名刺広告	40
西日本弁理士クラブ会員名簿	44
企業広告	46
編集後記	50

西日本弁理士クラブ幹事長 村上 太郎



西日本弁理士クラブの会員の皆様には、日頃より当クラブの活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知の通り、当クラブが擁立いたしました北村修一郎会員が本年4月より日本弁理士会会長に就任し、2年任期の1年目を務めております。私ども西日本弁理士クラブは、日本弁理士クラブおよび弁理士連合クラブとともに三派一体となって北村会長の政策を支えており、おかげさまで会務は滞りなく運営されております。会員の皆様のご支援の賜物と、改めて感謝申し上げます。引き続き、北村会長の重点事業施策である(1) 各分野で活躍する弁理士のロールモデルの提示、(2) 知財経営支援ネットワークの強化、及び、(3) 2025大阪・関西万博の共創パートナーとしての日本弁理士会の取り組みをはじめとして、各種施策へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

このクラブ誌が発行されている頃には、本年度に実施される予定の令和8年度の日本弁理士会役員定時選挙が迫っているはずです。同選挙に向けて、当クラブでは8月1日に臨時総会を開催し、令和8年度副会長候補者として上羽秀敏会員および永田元昭会員、監事候補者として田中達也会員、関西選挙区常議員候補者として高山裕貢会員、小澤壯夫会員、井崎愛佳会員、藪慎吾会員、中川秀人会員および青木寛史会員、九州選挙区常議員候補者として隅田俊隆会員を擁立することと致しました。いずれの方々も当クラブ、本会、関西会、九州会での活動実績をお持ちの方ばかりであり、その実績から次年度の副会長、監事、常議員として十二分にご活躍いただけるものと確信しております。

本年度は会長選挙は行われませんが、副会長選挙については、昨年同様、無会派から立候補が出る可能性がある

という情報もあります。選挙戦に臨むこととなった際には、当クラブから擁立した候補者全員の当選を果たすべく、会員の皆様には一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、今年の活動としましては、日本弁理士会本会の総会や関西会の総会に出席し、皆様から委任頂きました議決権を行使させて頂きました。私が出席したいすれの総会でも滞りなく議案が可決されました。

3月には、役員慰労激励会および役員慰労激励ゴルフコンペを開催しました。役員慰労激励会には関東及び東海等の遠方より68名の来賓の先生方にご参加頂きまして、盛大に開催することができました。また、7月には、滋賀県の地にて旅行会を開催しました。同旅行会には、来賓の方々を含めて70名の参加があり、盛大で非常に楽しくかつ有意義な会となりました。9月には弁理士連合クラブの旅行会が予定されており、こちらにも参加して他会派の先生方との交流を深めて参る所存です。

さらに、本年度は当クラブの創立70周年を記念して、10月4日(土)には万博帰りにお立ち寄り頂いて会員間の交流を深めるための70周年記念BBQイベントを開催するとともに、10月31日(金)には当クラブの創立70周年記念式典の開催が予定されております。多数のご参加をお待ちしております。

本年度も残すところ4ヵ月となりました。幹事一同、残りの任期を精一杯務めさせていただき、次年度幹事長予定者である宮崎栄二会員に引き継ぎたいと思います。会員の皆様には、幹事会に対して引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

(文書責任者 白井 尚)

選挙でのご協力をお願い致します

選対担当副幹事長 臼井 尚

1. 令和8年度役員定時選挙立候補者の選出について

2025年8月1日のクラブ臨時総会において、令和8年度役員定時選挙の立候補予定者として下記のクラブ員が選出されました。例年とは異なり、北村修一郎会長を万全に支えるべく、本年度は昨年度と同様に、当クラブから副会長候補予定者が2名(例年は1名)選出されました。

副会長候補予定者 上羽 秀敏 君 (10444)

副会長候補予定者 永田 元昭 君 (12160)

監事候補予定者 田中 達也 君 (10307)

(関西選挙区)

常議員候補予定者 高山 裕貢 君 (10323)

常議員候補予定者 小澤 壯夫 君 (12033)

常議員候補予定者 井崎 愛佳 君 (12392)

常議員候補予定者 藪 慎吾 君 (12895)

常議員候補予定者 中川 秀人 君 (18236)

常議員候補予定者 青木 寛史 君 (19467)

(九州選挙区)

常議員候補予定者 隅田 俊隆 君 (19016)

2. 選挙情勢について

副会長については、定員8名のところ、無会派から立候

補する可能性が残っており、その場合は当クラブ及び他会派からの立候補8名と合わせると定員オーバーになるため、選挙が実施される可能性があります。

監事については、定員5名のところ、他会派から4名が立候補するという情報が伝わっており、当クラブからの立候補1名でちょうど定員となり、選挙は実施されない可能性が高いと思われます。

常議員については、関西選挙区で定員6名、九州選挙区で定員1名のところ、当クラブから関西選挙区で立候補6名、九州選挙区で立候補1名でちょうど定員となり、選挙は実施されない可能性が高いと思われます。

3. 選挙戦に向けて

以上のとおり、監事及び常議員については現時点で選挙は実施されない可能性が高いと予想されますが、副会長については選挙が実施される可能性があります。選挙戦に突入した場合には、当クラブ選出の各候補の当選を至上命題として、選対として選挙に備えた万全の準備を整えています。何よりも会員の諸先生方のご協力が必要です。選挙突入となりましたら皆様の絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(文書責任者 臼井 尚)

副会長候補者 永田 元昭



この度は、西日本弁理士クラブより、令和8年度の日本弁理士会副会長の候補の一人に推薦いただき、誠にありがとうございます。

平成13年に弁理士登録してから早や24年が経ちました。年齢も51歳になり、やっと思ような仕事ができ、昔思い描いたような理想の弁理士像に近付いて来たように感じています。

思い返せば、平成20年度に常議員をさせて頂いた頃には「これから勉強させていただきます。」でも良かったのかもしれませんが、副会長となるとそういう訳にもいきません。ましてや、西日本弁理士クラブ始まって初めての日本弁理士会会長を支える副会長としては、本当に身が引き締まる思いです。

ご存じの通り、我が西日本弁理士クラブでは何度か会長擁立を目標に掲げ数々の先輩方がご尽力されてきましたが、残念ながら結実することはできませんでした。昨年この悲願は達成され滑り出した北村政権も真価が問われる2年目を迎えることとなります。

幸いにして、今年の執行役員会は他の年度を知る人からは“雰囲気が良い”と賞されると共に、「公正取引委員会との意見交換会の開催」、「公共事業の入札資格の取得と事業落札計画の立案」、「ロールモデルワーキンググループの立ち上げとロールモデルの公表計画の立案」など、過去に例を見ない新たな試みを力強く進めています。

さらに一方で、日本弁理士クラブ様、弁理士連合クラブ様、そして母体である西日本弁理士クラブの幹部の先生方とは定期的な意見交換会を重ね、執行役員会の執るべき政策について大変重要な情報を頂戴しております。これはこれまでの執行役員会には無かった試みであると共に、

弁理士の未来を明るいものにしようと思う同志として実に協力的で建設的な活動であると実感しています。

そんな中、私個人としては、執行理事として日本弁理士会の役員会に出席させて頂き、数々の議案の審議に関わっておりますが、これまで委員会・外部機関・ワーキンググループ等数多くの様々な組織に所属させて頂いて来たにも関わらずまだまだ知らない事が多く、自らの知見の浅さ・狭さを痛感し続ける日々であります。もちろんこのままではいけませんので、自らの担当する組織の議論には必ずリアルで参加して議題に乗らない些細な情報も取りこぼさないよう心掛け、担当しない議案については弁理士関係法規集を必死に捲り、日々研鑽を積んでいるところです。

私は、現任の副会長の小谷昌崇先生ほど思想や理想を高く持ち合わせてはおりませんし、小澤壯夫先生ほど柔らかく人と人を繋ぐ機微に聡い素養も持ち合わせておりません。周りの執行理事にも「永田さん、本当のこと言いすぎ…。」とある意味で心配されていることは、私の最大の長所であると認識しておりますので、これが短所にならないように且つこれを活かしながら、2年目の北村修一郎会長を精一杯支えて行きたいと志を再確認しております。

ここで得られた経験を西弁のみならず全ての仲間と共有することで、将来の日本弁理士会において一人では到底なし得ない大きな力を生み出すことができるのではないかと考えています。

選挙に際しましては、西日本弁理士クラブの皆様のご支援が不可欠です。皆様方の温かいご支援を賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

(文書責任者 山本 宗雄)

今、この男しかいない！ 永田元昭先生を推薦いたします。

参謀長 山本 宗雄

西日本弁理士クラブからの弁理士会の副会長に永田元昭先生を推薦します！

西日本弁理士クラブでゴルフをやったことがある人ならたぶん解ると思いますが、永田元昭先生は西日本弁理士会内でのゴルフや関東の会派がからむゴルフには多くの場合幹事としてまとめ役をやってくれています。その采配にはいつも助けられ、また感心している人が多いと思います。特に、関東の会派とのゴルフの幹事は、私(山本)もやったことがあるのですが、非常に大変でいろいろと細かく予定を立てていかなければならないのです。でも、永田元昭先生はその辺を緻密にやっても、それが全然大変そうに見えないのです。いや、その働きぶりには逆に感心いたします。緻密にしかも簡単そうにやっているのはどうやっているのだろうかとも思います。

永田元昭先生は、最近、日本弁理士会関西会で私のサポートとして副会長をやっていたのですが、非常に熱く委員会をサポートする姿が凛々しくもありました。ある委員会で少し問題があったのですが、委員会の委員の立場に立ってしかも問題を解決することに苦労していることを熱心に述べてサポートする姿勢には頭が下がる思いでした。永田元昭先生の努力にもかかわらず、結果としてはあまりうまく行きませんでした。委員会の委員の方々は

永田先生の努力に理解を示して、むしろ頼っているように感じました。私としては永田元昭先生が委員会の委員を厚くサポートする姿が焼き付いていて、本当によくやってくれたと感慨深く見ておりました。

永田元昭先生は、慶応義塾大学の理工学部を卒業後平成13年(2001年)に弁理士登録され、お父さんの永田良昭先生の経営している永田特許事務所に勤務されたのち、その事務所を引継いで現在に至っています。

永田元昭先生は、現在、日本弁理士会の執行理事として関西から初の北村修一郎会長の1年目を支えています。引き続き北村修一郎会長の2年目を支える副会長として立候補するのは、当然かつ適任であります。

西日本弁理士クラブの皆様、北村修一郎会長の2年目を支えるために、緻密でしかも熱心にサポートをする永田元昭先生以外におりません。

2年目の北村修一郎会長を支えるために、今回も西日本弁理士クラブから副会長を二人擁立し当選させなければなりません。選挙があった場合、何卒、皆様のご支援を賜りますよう、どうぞお願いいたします。

(文書責任者 山本 宗雄)

副会長候補者 上羽 秀敏



令和8年度副会長に立候補いたしました、上羽秀敏（うへびでとし）です。

私はこれまで、産業財産権の取得にとどまらず、知財を活用した企業経営の支援に力を注いでまいりました。なかでも、中小・ベンチャー・スタートアップ企業の知財活用支援に注力しており、2012年より13年間にわたり、高知県の顧問弁理士として活動を続けております。高知県内の中小企業や支援機関と密接に連携しながら、製品・サービスの「強み」を知財で裏付けることで、事業の競争力強化や新規市場開拓に貢献してまいりました。都道府県の顧問弁理士として、これほど長期にわたって継続的に活動している事例は全国的にも稀であり、その経験を通じて、弁理士の社会的役割の広がり新たな可能性を肌で実感しております。

また、日本弁理士会関西会においても、副会長や知財コンサルティング実行委員会（旧・近畿経済産業局協同委員会）委員長などの要職を歴任し、より実務に即した支援体制の構築に取り組んでまいりました。たとえば、近畿経済産業局が主催する「関西知財活用支援プラットフォーム事業」では、日本弁理士会関西会およびINPIT-KANSAIと協働し、令和3年度から令和6年度までに17社の企業に対して、弁理士による知財コンサルティングを実施して成果をあげてまいりました。今年度も新たに5社の支援が予定されており、着実にその輪が広がっています。また、「知財経営支援ネットワーク」においては、特許庁、INPIT、日本弁理士会、日本商工会議所、中小企業庁が連携する全国的な取り組みの中で、弁理士が中心的役割を担うことが期待されており、私自身も直接これに関与しております。

こうした活動を通じて、私は弁理士による知財コンサルティングには非常に大きな潜在需要があると実感しています。実際、多くの企業が、特許や商標の取得といった従

来型の業務だけでなく、知財を経営にどう活かすか、事業戦略にどう組み込むかといった観点からの専門的なアドバイスを強く求めています。「弁理士に知財コンサルティングを依頼したい」という声が、現場には確かに存在しているのです。

しかし一方で、私たち弁理士がそのニーズに十分応えられていない現状もあります。その要因は主に二つあります。第一に、知財コンサルティング業務に対して正当な対価を請求するための仕組みや慣行が、業界内にまだ十分に整っていないこと。第二に、弁理士の多くがこれまで権利取得業務を主軸として活動してきたため、経営的視点に基づいた助言や戦略提案の経験が不足していることです。このような背景から、弁理士が知財コンサルティングに取り組みたくても、容易に一步を踏み出せない状況があると感じています。

私は、これらの課題を克服し、弁理士が自信を持って知財コンサルティングに取り組める環境を整えることが急務であると考えています。そのためには、実践的な研修機会の提供や、他士業・支援機関との連携によるノウハウの共有、さらには業務報酬の適正化など、制度的・実務的な基盤整備が不可欠です。こうした取り組みを通じて、弁理士の専門性と社会的信頼をさらに高め、正当な報酬が得られる好循環を生み出し、弁理士業界全体の持続的発展に寄与してまいります。

令和8年度は、北村修一郎会長の二期目にあたります。私は、会長の基本方針をしっかりと支えながら、とりわけ重点施策である「知財経営支援の強化」に全力で取り組み、副会長としての責務を誠実に果たしてまいります。

どうか皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

（文書責任者 伊藤 英彦）

将来の弁理士像を見据えた 上羽秀敏君に期待する

参謀長 伊藤 英彦

副会長候補の上羽秀敏君と私は、1992年から2001年の10年間程、同じ特許事務所に勤務していた。ただ、彼と私は、担当する分野が異なり別のグループに属していたため、一緒に仕事をする機会は無かった。当時、上羽秀敏君は、仕事上で有能というよりは、仕事以外の領域で目立つ存在だったように思う。

上羽秀敏君は、2002年に特許事務所を開設した。私が記憶しているのは、彼が、事務所開設前後の時期に、「ビジネスモデル特許」についての研究の成果をいたるところで発表し、広く顔を知られるようになったことである。これを皮切りにして、その後の執筆活動および講演活動は多岐にわたるようになった。一度彼の講演を聞いたことがある。簡潔にまとめたパワーポイント資料を見せながら、軽妙なトークでわかり易く解説していた。聴衆を引き込む術を心得ていて、懐の広さを感じさせる講演内容であった。

上羽秀敏君は、一見すると真面目な弁理士ではない。外見上、怖い人のようにも見える。しかし彼は、実に真面目に物事を捉え、将来の弁理士像について真剣に考えている。弁理士としての活動也多岐にわたる。

彼の弁理士としての活動の一部を列举すると、日本知的財産仲裁センター調停人・仲裁人・判定人候補者、日本弁理士会近畿支部副支部長、中小機構知財戦略支援人材の育成事業全体委員会委員、ソフトウェア紛争解決センター仲裁人・あっせん人候補者、関西特許研究会代表幹事、西日本弁理士クラブ幹事長、日本知的財産仲裁センター関西支部運営委員、高知県顧問弁理士、日本弁理士会関西会副会長、日本弁理士会関西会知財コンサルティング実行委員会副委員長、日本弁理士会執行理事、日本弁理士

会関西会近畿経済産業局協同委員会委員長、近畿経済産業局VR・AR等を活用したサービス創出に向けた有識者検討委員会、日本弁理士会第4次産業革命知財システム検討会対応WG等である。

私を含め多くの弁理士は、特許・実用新案・意匠・商標の権利化および取得した権利の活用を業務の主軸としてきた。知財を取り巻く環境は、明らかに変わりつつある。今後、否応なく、AIが我々の業務にも浸透してくる。今後の弁理士に求められるのは、権利化取得や権利の活用だけでは足りず、知財コンサルティング業務である。

多くの弁理士が知財コンサルティングのニーズを感じながら、なかなかそこに入り込めていないのが実情である。上羽秀敏君は、この課題を克服し、弁理士が自信をもって知財コンサルティングに取り組める環境を整えたいとの思いを強く抱いている。

今後の弁理士にとって「知財コンサルティング」は不可欠な業務になると思われる。そのための環境整備も必要になる。上羽秀敏君を副会長候補に送り出すことは、まさに今後の知財コンサルティングの環境整備の第一歩になる。

来期は、北村修一郎会長の二期目にあたるが、北村執行部を支えるには、当クラブから選出される副会長が重要な役割を果たさなければならない。将来の弁理士像を見据えた上羽秀敏君は、北村執行部の中で大いに活躍することを期待できる。

上羽秀敏君に対し、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(文書責任者 伊藤 英彦)

監事立候補のご挨拶

監事候補者 田中 達也



この度、西日本弁理士クラブより、令和8年度の日本弁理士会監事の候補にご推薦をいただき、誠に有り難うございます。

私は、平成4年(1992年)に弁理士登録をし、今年で登録33年目を迎えました。その間、平成5年に近畿支部幹事を務め、平成14～15年度には1回目の常議員を務め、平成23～24年度には本会の執行理事を2期務め、平成25年には本会副会長を務め、平成31年～令和2年度には関西会副会長を2期務め、令和3～4年度には関西会会長を2期務めさせていただきました。また、現在は2回目の常議員の2年目を迎えており、本年度の選挙で監事に当選した場合には、2回目常議員の任期終了直後に監事に就任することになり、引き続き2年間は西日本弁理士クラブを代表として、日本弁理士会の重要な役職を務めることになります。さらに、委員会活動などの期間を含めると、私の弁理士人生33年間のうちの約30年間以上は日本弁理士会又は関西会の会務に関わってきたことになり、私の人生にとって貴重な経験を得ることができたと思う一方で、会員としての義務を十分に果たしたと自負しております。

実は、2回目の常議員に立候補した時には、年齢的なこともあり、それが弁理士会への最後のご奉仕にしようという思いでありましたが、会務経験の必要な監事という役職が未だ残っておりまして、今度こそは本当の最後とい

う思いで、推薦をお受けすることにしました。たまたま、西日本弁理士クラブから送りだした北村会長の任期2年目の年にあたりますので、同会長が掲げた事業計画が適正に実行に移されるのかどうかを、必要に応じて監事としてアドバイスを送りながら、しっかりと見届けたいと思います。

私が弁理士登録を行った30年前とは異なり、登録弁理士の人数は約4倍に増えた反面、出願数は減少しており、弁理士になっても儲からない状態が長く続いています。競争社会である以上、能力や適性に欠ける弁理士が淘汰されるのは仕方がないことではありますが、能力も適性もある弁理士が、単に機会に恵まれないだけの理由で業界から離れてしまう状況は弁理士会にとっても産業界にとっても大きな損失であり、改善されるべきであります。北村会長の事業計画の中には、弁理士の中の成功体験者等からの情報を基に成功に導くためのロールモデルを作成して、会員に提供するという事業が含まれておりますので、この事業が若手の弁理士に将来への夢を与えられるかをしっかりと見届けたいと思います。

なお、本年度の選挙に備えて、参謀長には松井宏記会員、システム担当参謀には齊藤智和会員に依頼しましたので、選挙に突入した場合には、協力して集票にあたりたいと考えています。

(文書責任者 松井 宏記)

田中達也先生を監事に!

参謀長 松井 宏記

田中達也先生とは、近畿支部(当時)の委員会活動(確か、知的財産制度検討委員会)で数十年前にご一緒させていただいてから色々な場面でご一緒させていただいております。みなさんご存知のように、田中先生はゴルフでは西日本のエースであります。いつも朝一番に可愛いナップサックをヒョイとしょって「おはよー」とゴルフコースに登場されます。その風貌はものすごくゴルフが上手い方というよりも、ピクニックをしに来た優しい方という感じです。しかし、ひとたびゴルフの話題になると、いろいろとコツを話し始められ、ゴルフに対する造詣が感じられます。いざスタートすると、ほとんどミスなどなく、ヒョイっと軽くスイングされますが飛距離はドラコンを取るほど飛びます。真ん中に。ゴルフはミスなく、いかに正確に18ホールを回るかというスポーツですが、田中先生は、ゴルフはもちろん日々の生活においてもミスすることなくヒョイっと過ごしておられるのであろうなあと感じてしまいます。今年のパテントマスターズにおいて、リーダーズボード(順位表)が各カートのモニターに表示されていましたが、強者だらけの中、常に1位か2位の争いをされており、さすが西日本のエースやなぁと思いました。

また、田中先生は大変なグルメでもあります。たくさん美

味しいお店を紹介していただきました。紹介していただいたお店に行ってみると、「あー、確かに美味しい。さすが、たっちゃん先生が紹介してくださるお店やわ。」と、その選球眼にまた感服させられます(裏では「たっちゃん先生」と呼ばせていただいています。すみません)。

このように、田中先生はヒョイっとゴルフもグルメもハイレベルで楽しんでおられます。日本弁理士会の活動も、副会長や関西会会長を歴任しておられ、会務経験も十分すぎるほどであります。会務においても、いろいろとご意見をいただくことが多いです。田中先生のご意見を聞いて、あー、なるほど、そう考えるのか、と今まで勉強させていただきました。例えば、田中先生が関西会会長であったとき、関西会で実務系委員会が立ち上がりましたが、その設立趣旨をお聞きしたとき、確かに、関西でオフィシャルに実務家を育てる環境が必要だと思いました(私がそのまま委員長として委員会を運営させていただきました)。

田中先生はプライベートでも会務でもきっちりと正確に行動されています(と思います。笑)。田中先生は監事として適格でありますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

(文書責任者 松井 宏記)

常議員候補者
高山 裕貢



この度、西日本弁理士クラブよりご推薦を戴き、令和8年度日本弁理士会常議員選挙に立候補いたしました高山裕貢です。どうぞ宜しくお願い致します。

私は、1992年に弁理士登録をし、これまで、在阪の製薬会社および特許事務所に勤務してまいりました。

製薬会社での企業経験が25年ほどあり、その間、日本知的財産協会(JIPA)にて常務理事を務め、また日本製薬工業協会での知財委員会委員を10数年、その間、同委員会での副委員長を3年務めるなど、日本弁理士会以外における業界活動を主として行って参りました。

ただ、弁理士会関係でも、研修所の委員でありつつ、主として付記弁理士を対象とした実務研修の講師を数年務めており、弁理士会に全く関与していない訳ではないことも付言させていただきます。

さて、ご案内の通り、弁理士は、クライアント(顧客)のため、知的財産の権利化手続き、紛争解決、コンサルティングなど、幅広い重要な役割を担います。これらに関連する業務は、法律や技術の高度な専門知識や交渉力などを駆使して行う必要があり、故に弁理士は常に、最新の情報を収集し、自己研鑽することが求められます。このような背景から、高い責任、業務量の多さ、そして精神的な負担も相まって、弁理士業務の大変さが語られることも事実です。そういったすべての問題は、その業務の労力、価値、重要性に見合った報酬の提供と、そして、昨今特に進展著しいChat GPTに代表される生成AIの活用によって解決できるかと思われれます。それにより、弁理士業務は、クライアントの知的財産を守り、成長を支える重要な責務を果たす、やりがいのある仕事に昇華し、同時に、弁理士であっても、働き方改革のもと、ワークライフバランスを重視した働き方の追求が可能になると思われれます。

このように労働環境を含め、弁理士業務をより充実したものとする事は、古参の弁理士のみならず、若い世代の弁理士、またこれから弁理士を目指そうとされている方々にとっても重要であろうと思われれます。

この度、常議員として日本弁理士会に貢献できる機会をいただきました。西日本弁理士クラブの皆様の温かいご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

(文書責任者 中川 雅博)

常議員候補推薦の言葉

常議員候補に
高山裕貢候補を推薦します!

参謀長 中川 雅博

令和8年度の日本弁理士会常議員候補として、高山裕貢君を推薦いたします。

高山裕貢候補は弁理士の登録年数が32年あまりであり、もう既に常議員は当然やっていると思っていましたが、まだ常議員をやっていないということです。今回、満を持して常議員に立候補することになりました。

高山裕貢候補は、九州大学薬学部製薬化学科を卒業した後、在阪の製薬会社に勤務し、製薬会社の研究・開発部門などで業務を行ううちに知財の重要性に気づいて勉強した後1992年に弁理士登録をし、特許事務所を経て塩野義製薬株式会社で十数年勤務し最終的には知的財産部長も務めて、現在は青山特許事務所でパートナーとして活躍しております。また、高山候補は、企業時代に日本知的財産協会(JIPA)では常務理事を2年間勤め、日本製薬工業協会で講師などとして活躍しておられました。また、現在日本弁理士会の主として付記弁理士を対象とした実務研修の講師もしています。

高山候補は、いつも楽しそうな雰囲気を持って話されるのですが、ひとたび議論になると非常に理詰めで考えることが多く、話をしてもいつも深く考えていると感じることが非常に多い印象です。また、高山候補はお酒を飲むのも好きで、いつも楽しく歓談をするのですが、議論をしだすとやはり理詰めで考えて結論を導き出すことが多いです。

また、高山候補はゴルフ好きですが、ゴルフはアメリカへの1年間の研修時にかなり真剣に取り組んだとのこと、アメリカ研修から帰ってきたらゴルフが急にうまくなって周りの者を驚かせたとの逸話も残っています。ただ、ゴルフに関しては、本人は最近アメリカ研修の成果が出ていないとぼやくこともあります。

高山候補が常議員に当選した場合には日本弁理士会の会務全般を理詰めで整理して、適格かつ鋭く指摘できる能力を持っていると考えます。また、西日本弁理士クラブの常議員として、必要であれば、西日本地域の事情や立場を日本弁理士の会務に反映することができるように、提言を行っていくことができるものと思っています。

常議員選挙においては、高山裕貢候補に皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

高山陣営の選挙参謀は、私(中川)の他、水原正弘、森脇靖子、矢野浩太郎、白鹿剛、藤原尚恵が務めます。

(文書責任者 中川 雅博)

北村会長の
政策の実現に
向けた活動を
支える

常議員候補者
小澤 壮夫



この度、西日本弁理士クラブのご推薦を頂き、令和8年度日本弁理士会常議員に立候補させて頂くこととなりました小澤壮夫(おざわたけお)と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

私は、平成13年に弁理士登録をし、近畿支部・関西会の副支部長及び副会長を都合6年経験させて頂きました。また、日本弁理士会の本会(以下、「本会」といいます。)では、平成18~23年度に知的財産価値評価推進センター副センター長、平成27~28年度に常議員、令和5~6年度に執行理事を経験させて頂き、現在は副会長を拝命しておりますが、今回、2期目の常議員選挙に立候補させて頂くこととなりました。西日本弁理士クラブの皆様には、昨年度、本会副会長選挙に際しまして、中川前幹事長、吉本前選対副幹事長のもと、多大なご支援、ご協力を賜りました上に、本年度もご協力をお願いさせて頂くことになり、誠に恐縮です。

本年度は、西日本弁理士クラブが創立70周年を迎えるとともに、初めて関東以外の地域から選出された北村修一郎会長の1年目であり、日本弁理士クラブ及び弁理士連合クラブの先生方のご協力も賜りながら、鈴木一永前会長が築かれた礎の上に、北村会長の政策の実現に向けた骨組み造りに注力しているところです。

次年度は、本年度に組み上がるであろう骨組みを生かして、いよいよ北村会長の城を政策の成果として完成させる年となり、私は常議員として築城に向けた手助けに尽力する所存です。どうぞ、昨年と同様に、皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(文書責任者 山根 広昭)

常議員候補として
小澤 壮夫 先生を応援します!

参謀長 山根 広昭

令和8年度の日本弁理士会常議員選挙に、小澤壮夫先生が立候補されました。

小澤先生は、これまで日本弁理士会関西会の役員をはじめ、日本弁理士会の常議員、執行役員、副会長など数多くの要職を務められ、会務に対して深い理解と豊富な経験をお持ちです。また弁理士の職業に対しても、強い誇りを持って活動されておられます。さらに、母校・同志社大学では長年にわたって知的財産の講師を務められ、社会での知財の重要性を学生に伝える活動にも熱心に取り組まれてきました。

常議員会は、全国の地域会ごとに選出された会員で構成され、総会議案の事前審議や予算外支出の検討など、会のチェック機能を担う非常に重要な場です。今回の立候補は先生にとって2度目となりますが、これまでの幅広い経験に基づく重みのある発言によって、常議員会の議論をさらに引き締めてくださるものと期待しています。

また、西日本弁理士クラブにとりましてもクラブを代表する存在として、常議員会の運営を安定させ、北村会長体制の2年目を力強く支えてくださると確信しております。

私にとって小澤先生は、弁理士試験の合格同期であり、大学の先輩、そして人生のよき先輩でもあります。これまでたくさんの場面で一緒に、学びと笑いに満ちた時間を共有してきました。このたび参謀長を任せていただき、大変光栄に思っております。

当参謀団には、システム担当：野口祐輔、参謀：高垣泰志、皆川祐一、桑城伸語、若手参謀：米口麻子加わっています。一丸となって小澤先生をサポートできるよう頑張っています。僭越ながら参謀団を代表いたしまして、小澤先生および当参謀団への皆様のあたたかいご支援を賜れますことを心よりお願い申し上げます。

(文書責任者 山根 広昭)

常議員候補者
井崎 愛佳



この度、西日本弁理士クラブのご推薦を賜り、令和8年度日本弁理士会定時選挙において常議員に立候補いたしました井崎愛佳と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

私は化学と法律の双方を学び、2002年に弁理士登録、2009年には米国Patent Barに合格し、国内外の実務に従事してまいりました。国際感覚と現場視点を活かし、技術と法律、国内と海外の橋渡しを意識した業務を心がけております。

弁理士になった当初は社会経験も乏しく、弁理士普及委員会で多くの先生方に支えられ育てていただきました。特に、西森正博先生(故人)、赤岡和夫先生をはじめ、小学校での知財教育に尽力された諸先生方と一緒にできたことは、今でも大切な財産です。

その後、米国弁護士である服部健一先生のご厚意で米国に渡り、1年弱、米国法律特許事務所にて米国実務を学ぶ機会を得ました。文化や言語の違いに戸惑いながらも、「主張しなければ伝わらない」こと、そして「雑草のようにしごとく」の精神を身につけました。

帰国後は、所属事務所外国部門の業務改善を任され、多忙を極める中でも周囲に支えられ乗り越えることができました。異文化間の意思疎通では、誰にでも分かりやすく、明確に伝えることの重要性を実感しています。

かつては国際情報委員会や日本知的財産仲裁センターにも所属し、仲裁・調停を学び国際感覚を磨いてまいりました。得難いネットワークは今も私の財産です。

23年の実務経験を通じ痛感するのは、相手に分かりやすく伝えることの大切さです。私は関西の多様な力を結集し、「誰にでも分かりやすく伝える」を軸に、「誰でも意見を言え、誰でも活躍できる」開かれた弁理士会を実現したいと考えております。常議員として、弁理士会をより分かりやすく、参加しやすく、そして未来志向の組織へ進化させるべく全力を尽くしてまいります。皆様の温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(文書責任者 鮫島 武信)

常議員候補推薦の言葉

「変革の時代に、共に未来を創るリーダー」
人知れず 咲いて支える 浪華の都の華一輪
——しなやかに、そしてひたむきに。

参謀長 鮫島 武信

常議員には井崎愛佳弁理士を推薦します。

いま弁理士界は、生成AIの進展や国際出願手続の高度化、若手の減少といった変化の波にさらされています。こうした時代に必要なのは、制度と現場をつなぎ、未来を見据えて行動できるリーダーです。

井崎弁理士は、実務に根ざした視点とともに、「誰にでも分かりやすく、誰でも参加しやすい弁理士会」を目指して活動してきました。彼女は、現地代理人とのやり取りやクライアント対応を通じて、「伝わる言葉で話すこと」の重要性を体得してきました。「専門的であること」と「わかりやすくあること」は両立できる——その信念が、若手や非専門家との架け橋となっています。

また、井崎弁理士は女性としての視点を活かし、「時間制約のある人も無理なく関われる会務活動」の必要性を強く訴えています。雑草のようにしごとく努力してきた彼女自身の経験から、リモート参加の活用や短時間での意見交換の仕組みづくりなど、現実には即した提案を行うと確信します。

社会人として、米国パテントエージェントとして、事務所弁理士として、時間と地域の差を乗り越えて、これほど多様な顔を持つ人を私は知りません。知っているのは明るい笑顔だけです。人々を結びつけるとびっきりの笑顔…

多様な視点が組織の力になることを、彼女は体現しています。文理の両方を学び、実務と法制度、国内外の違い、そして男女の視点を、明るい笑顔でつなぐことができる希有な存在です。

しなやかで強く、対話を重んじる井崎弁理士。主張すべきはたとえ遠く迂遠な道であったとしても貫き通す!との勇気と信念が、変革期の日本弁理士会に新たな風をしなやかに、そしてひたむきに吹き込むと、私は確信しています。

(文書責任者 鮫島 武信)

常議員候補者
藪 慎吾



この度、西日本弁理士クラブからご推薦をいただき、令和8年度日本弁理士会定時選挙において常議員に立候補させていただきました。藪慎吾と申します。ご推薦をいただきましたこと心より感謝申し上げます。立候補にあたり簡単に自己紹介をさせていただきます。

2003年に弁理士登録をさせていただき、2010年より、近畿支部(現、関西会)の国際情報委員会において、委員、副委員長、委員長を務めさせていただき、国際的な知財活動について学ばせていただきました。また、ソフトウェア委員会での活動も経験し、関西実務系委員会や国際活動センターでも活動の機会をいただき、多くの先生方にご指導いただきながら関西地区の知財活動に関わらせていただきました。

近年、生成AIの普及により知財業界は新たな局面を迎えており、AI創作物の権利帰属やデータ利用に関する課題があります。また、DX推進に伴うソフトウェア特許の重要性増大、国際的な知財紛争の複雑化など、新たな対応が求められています。これまで国際情報委員会など会務を通じて学ばせていただいた経験を活かし、少しでもお役に立てればと考えております。

特に中小企業やスタートアップ企業にとって、限られたリソースで国際的な知財戦略を構築することは大きな課題です。関西地区の産業特性を踏まえ、実務に即した支援体制の充実や、会員の皆さまが直面される課題解決に向けて微力ながらお手伝いできればと思います。

常議員として、変化する知財環境に柔軟に対応し、会員サービスの向上と日本弁理士会の発展に微力ながら貢献させていただきたく存じます。どうぞ、皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

(文書責任者 丹野 寿典)

常議員候補
藪慎吾先生の推薦の言葉

参謀長 丹野 寿典

令和8年度の日本弁理士会の常議員候補として藪慎吾先生を推薦いたします。

藪先生との出会いは、弁理士試験のゼミから始まり、弁理士試験合格後は一緒にランチや飲みに行くなど、長年にわたり親交を深めてまいりました。

20年以上の知財実務経験を有する藪先生は、豊富な知識と経験からの確に問題を解決していく能力を備えています。また、中国や欧州の知財関係の国際会議に積極的に参加され、グローバルな視点を持ち合わせ、各国知財動向にも精通しています。特に、大手北京事務所での2年間のご経験もあり、中国実務および中国語レベルは関西のみならず日本国内でも群を抜いております。

藪先生は、社交的で明朗闊達な性格であり、多くの人に慕われています。関西会の会務にも熱心に取り組んでおられます。常議員としての職務を果たすために必要な大局観と会務経験を兼ね備えた藪先生は、弁理士会の発展に大いに貢献されると確信しています。

近年、弁理士会は、弁理士の人数減少、高齢化、知財戦略支援人材の育成など、様々な課題に直面しています。藪先生は、これらの課題に真摯に向き合い、解決に向けて尽力されることと確信しております。さらに、弁理士会の組織運営においても、その透明性と効率性の向上に積極的に取り組んでいかれるものと期待しております。

最後に、藪先生の持ち味として社交性とリーダーシップがあります。藪先生は、弁理士同士の会合を積極的に企画するだけでなく、知財業界に広いネットワークを有しており、周囲の人々を引きつける魅力と、人々を結びつける力を持っています。

藪先生は、皆様のお力を結集し、常議員として弁理士会の発展に寄与し、会員全体の利益のため、延いては、日本の将来のために不撓不屈の精神で邁進する所存ですので、皆様の温かく力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(文書責任者 丹野 寿典)

常議員候補者
中川 秀人



常議員候補として
中川秀人先生を推薦いたします。

参謀長 北原 宏修

この度、西日本弁理士クラブよりご推薦をいただき、令和8年度日本弁理士会定時役員選挙の常議員として立候補させていただくことになりました、中川秀人と申します。立候補にあたり、自己紹介とご挨拶をさせていただきます。

私は大学院で知的財産権に関する講義を受講したことがきっかけで、弁理士という職業を知り、知財業界に興味を持ちました。大学院修了後は、メーカー勤務を経て、特許事務所に転職し、今に至ります。

弁理士登録後は、同期の方や先輩方のお誘いを受け、西日本弁理士クラブの若手会や、幹事会に参加させていただきました。これらの活動を通じて、多くの先輩方とお話しする機会や、様々な会務に携わる機会を頂くことができ、大変感謝しております。

会務としては、これまで、本会の弁理士業務標準化委員会、特許委員会や、関西会の弁理士関係法規検討委員会に参加させていただきました。現在は、経営基盤強化委員会に所属し、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)や生成AIなどの最新技術を弁理士業務にどのように活用できるかについて検討を進めております(実は、この原稿も生成AIでドラフトを作成しています)。これらの技術は弁理士業務の効率化や品質向上に大きく寄与する可能性があるものであり、今後はその成果を積極的に情報発信していきたいと考えております。

弁理士を取り巻く環境は、出願件数の減少や価格競争の激化などにより、年々厳しさを増しております。こうした状況の中で、弁理士業界が持続的に発展していくためには、技術革新への対応が不可欠です。まだまだ未熟者ではございますが、常議員に当選させていただきました暁には、弁理士業界の未来を見据え、誠心誠意取り組んでまいります。

選挙に際しましては、先生方の温かいご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

(文書責任者 北原 宏修)

この度、令和8年度役員定時選挙において中川秀人先生が常議員に立候補されることになりました。中川先生にとって初めての常議員への立候補ということもあり、少し緊張されている様子ですが、中川先生にはその緊張感も楽しんでいただきたいと思います。

中川先生は、2012年4月11日に弁理士登録されて以来、弁理士業務標準化委員会の委員、経営基盤強化委員会の委員、特許委員会の委員、関西会の弁理士関係法規検討委員会の委員、弁理士業務標準化WGを歴任されておられます。このように、中川先生は、弁理士登録以来、積極的に日本弁理士会の会務活動に貢献してきておられます。

ところで、小職は、過去に、中川先生と共に弁理士業務標準化委員会および経営基盤強化委員会に所属し、共に委員会活動をした仲です。中川先生の人柄を一言で表すならば「実直で信頼できる人」です。何事にもまじめに取り組み、誠意をもって人と接する姿勢をお持ちです。また、小生から中川先生に弁理士業務標準化WGのWGメンバーへの就任や、当クラブのIT担当副幹事長への就任をお願いした際にも快くお引き受けいただいたことを今でもよく覚えています。このように中川先生は、非常に協力的な方でもあります。このようなことから、中川先生は常議員の立候補者としてふさわしい人物であると確信しています。

現在、当クラブ所属の北村修一郎先生を会長とする日本弁理士会では、様々な取り組みがなされており、執行役員会から種々の総会議案が上がってくるのが想定されます。中川先生には、常議員会において、それらの総会議案を精査するのみならず、建設的な意見を積極的に述べていただけるものと期待しております。

ついては、皆さまにおかれましては、中川秀人先生へのご理解と熱いご支援を心よりお願い申し上げます。

(文書責任者 北原 宏修)

北村会長の 政策の実現に 向けた活動を 支える

常議員候補者
青木 覚史



このたび、西日本弁理士クラブよりご推薦を賜り、令和8年度日本弁理士会常議員に立候補させていただくこととなりました、青木覚史と申します。立候補にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は大学卒業後、特許事務所に就職し、2014年に弁理士登録をしました。私が弁理士試験に合格した2013年当時の最終合格者数は約700人であり、ちょうどその頃、弁理士の会員数が1万人を超え、弁理士数の増加による業界への影響が懸念されていたと記憶しています。しかし、昨年の最終合格者数はわずか191人にとどまり、弁理士試験の志願者数自体も年々減少の一途をたどっています。また、知財の現場において、弁理士という職業の社会的認知度がいまだ十分とは言えないと実感する場面も少なくありません。「弁理士に会うのは初めて」と言われたり、「弁理士って弁護士とどう違うの?」と尋ねられたりすることも度々あります。

こうした状況が続けば、知財を支える担い手の裾野がさらに狭まり、ひいては弁理士という資格の存在意義そのものが、社会から問われることになりかねないという強い危機感を抱いております。

私は、弁理士の価値や魅力を、産業界・行政・教育機関等との連携を通じて積極的に発信し、その意義を次世代にしっかりと伝えていくことが急務であると考えています。そのためには、「魅力ある職業」としての弁理士像の確立とともに、弁理士の社会的認知度の向上に向けた地道な努力が不可欠です。弁理士という国家資格に誇りを持ち、その価値を社会に正しく伝えていく。その一端を常議員として担わせていただければ、微力ながら全力を尽くしてまいります。何卒、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(文書責任者 北野 修平)

青木覚史候補を 推薦します

参謀長 **北野 修平**

令和8年度の日本弁理士会常議員候補として青木覚史候補を推薦いたします。

青木候補は、今回の西弁の常議員候補の中で弁理士登録が最も新しい候補ではありますが、大学卒業後の2008年に特許事務所での勤務を開始し、約17年の実務経験を有しています。この間、2014年の弁理士登録後、関西会(近畿支部)では知財普及・支援委員会、総務企画委員会、関西会設立40周年記念事業実行委員会、関西実務系委員会、倫理委員会、違反者調査委員会の委員を務め、関西実務系委員会では2023年度の意匠部会長を務めました。また、本会では、意匠委員会、不正競争防止法委員会、ロールモデル委員会の委員を務め、意匠委員会および不正競争防止法委員会では副委員長を歴任しております。このように、青木候補は、会務活動の重要性を十分に認識し、実際に多くの会務活動に参加してきました。

私は、4年前から青木候補と同じ事務所で仕事しております。事務所での仕事が忙しいときにも会務活動には手を抜くことなく取り組む一方で、事務所での仕事ではクライアントの立場に立って丁寧に考え、対応する姿を見て参りました。また、議論の場では、その場の空気を適切に読むことができる一方で、「おかしい」と思うことには空気に流されことなく自身の意見を堂々と表明します。このような青木候補であれば、西弁会員の代表の一人として常議員の責務を十分に果たすことができるものと確信し、推薦する次第です。

青木候補の選挙参謀は、私のほか、新宅将人、楠屋宏行、白井里央子、古山 裕、原 智典が務めます。選挙に際しましては、青木覚史候補に対し、皆様の温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(文書責任者 北野 修平)

常議員候補者

隅田 俊隆



この度、西日本弁理士クラブからご推薦をいただき、令和8年度日本弁理士会常議員選挙に立候補致しました隅田俊隆と申します。よろしくお願い申し上げます。立候補にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は、大学院修了後、福岡県の企業にて研究業務に従事した後に、東海地方にある大手特許事務所に転職し、2013年に弁理士登録をいたしました。その後、2020年1月に地元九州にUターンして独立開業し現在に至っております。九州会では、2022年4月から会務活動に参加し、現在は九州会副会長を務めさせて頂いております。会務活動では、九州各地で活躍する弁理士と行動を共にしながら、実務だけでは得られない様々な経験を積ませて頂いております。また、対外的には、九州会が加盟する福岡専門職団体連絡協議会にて2022年度共同相談会運営委員長を務めさせて頂くなど、他士業との交流も深めて参りました。

九州会では、役員会や委員会に所属する会員によって活発な会務活動が行われる一方で、会務活動に積極的に参加する会員数が決して多くないという実情があります。このため、できるだけ多くの会員が会務活動に参加していくことが、今後の九州会の発展には欠かせないと考えます。

また、九州会に限ったことではありませんが、弁理士の活躍の場をさらに増やしていくためには、弁理士の知名度アップが必須であると考えます。弁理士という国家資格者の存在を世間一般に広く知ってもらうことが、九州ひいては全国で活動する弁理士を取り巻く環境を改善させていくための重要な要素の一つであると私は考えます。

こうした取り組みのお手伝い出来るよう、微力ながら一役員として精進努力して参りたいと存じます。常議員選挙にあたり、皆様の温かいご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

(文書責任者 羽立 幸司)

参謀長 羽立 幸司

私は、隅田俊隆会員を常議員候補として推薦します。

隅田会員は、2020年に福岡に戻り、事務所を開設すると共に開設間もない頃から九州会会務に積極的に取り組み続けられています。積極的な姿勢について質問したことがありますが、隅田会員は、東海会での会務経験があり、東海会での会務に対する考え方を感じたことが大きく影響しているようです。

隅田会員のことをご紹介する上では、福岡専門職団体連絡協議会(以下、「専団連」という。)の説明が欠かせません。専団連は、1991年に設立された10士業団体を構成員とする団体です。年に3回の大きな相談会の実施と、理事会、幹事会及び共同相談会運営委員会などがあり、活動の活発さは全国的にトップクラスです。各士業団体が当番会となると組織全体を運営することになります。九州会は、長年の経緯があり、2022年8月～翌年7月まで共同相談会当番会を初めて担当し、2023年8月～翌年7月まで全体の当番会を同じく初めて担当しました。この当番会を乗り越えられるかは、九州会にとって大きなテーマでした。

このような中、隅田会員は、2022年度は九州会福岡委員会副委員長になると共に上記共同相談会の運営委員長を引き受け、2023年度は九州会幹事(福岡県担当)、福岡委員会委員長及び福岡地区会地区運営委員になると共に専団連幹事を引き受けました。つまり、隅田会員は、九州会にとって前例がなく対外的な責任が大きな会務活動に2年間にわたってメインの立場で関わり続け、チャレンジしてやり遂げたわけです。

上記から分かりますように、隅田会員は、当選したあかつきには、地方のことを理解した上で常議員という会務を間違いなくやり遂げると思います。皆様による応援のほど、よろしくお願い致します。

(文書責任者 羽立 幸司)

令和8年度 役員定時選挙の投票要領

1. 投票方式

郵便投票だけです。

直接投票及び不在者投票はありません。

2. 投票の手順・送付方法

令和7年9月19日付けで、日本弁理士会選挙管理委員会より選挙人宛てに投票用紙、内封筒、外封筒及び候補者名簿が送付されます。

投票用紙に候補者の氏名を自書し、これを内封筒に入れ、その内封筒を外封筒に収めた上で、郵便ポストに投函して下さい。料金受取人払いですので、外封筒には切手を貼らずに投函して下さい。

・郵便投票のため、持参、宅配便、バイク便等の郵便以外による投票は認められませんので、ご注意ください（役員選挙規則第21条第6項）。

・選挙管理委員会から送付された外封筒以外は、郵便投票としての効力が認められませんので、ご注意ください（役員選挙規則第29条第4項）。

・以下の投票は無効になりますので、ご注意ください。（役員選挙規則第38条）。

第38条 次の投票は無効とする。

- (1) 第25条に規定する投票用紙及び内封筒を用いないもの。
- (2) 一の郵便投票用外封筒に複数の内封筒が入っているもの。
- (3) 一の内封筒に複数の同種の選挙に関わる投票用紙（常議員選挙にあつては、投票者が属する選挙区以外の選挙区の投票用紙を含む。）が入っているもの。
- (4) 候補者でない者（常議員選挙にあつては、投票者が属する選挙区以外の選挙区の候補者を含む。）の氏名を記載したもの。
- (5) 一の投票用紙に2人以上の候補者の氏名を記載したもの。

- (6) 候補者の氏名のほかに他の事項を記載したもの。ただし、その候補者の住所、登録番号又は敬称の類を記載したものは、この限りではない。
- (7) 候補者の何人を記載したかを確認できないもの。
- (8) 候補者の氏名を印書又は印刷したもの。
- (9) 内封筒に文字、記号などの他事記載のあるもの。

3. 投票期間

令和7年9月27日(土)～同年10月9日(木)

午後5時到着まで

注意①

投票締切日時(令和7年10月9日(木)午後5時)までに選挙管理委員会に到達するように、投票用紙を郵送してください(役員選挙規則第29条第4項)。郵便以外の方法による投票は認められませんのでご注意ください。

注意②

投票用紙の送付は料金受取人払郵便で、通常の配達日数より2～3日多くを要しますので、早めに投函してください。

4. 投票用紙の再交付

郵便の未着により投票用紙が届かない場合又は紛失された場合には、日本弁理士会選挙管理委員会へFAX(03-3581-9188)、電子メール(senkryo@jpaa.or.jp)又は郵送で請求することにより、投票用紙の再送付を受けることができます。

5. その他

以上のほか、今回の選挙に関して不明な点があれば、当クラブ選挙対策委員会の臼井尚まで、以下の電話でお問い合わせください。

TEL:06-6764-6664

(文書責任者 臼井 尚)

若手会特集

若手会リーダー 関口 皓太

西日本弁理士クラブ若手会では、当クラブ会員のうち登録年数が比較的短い弁理士の親睦及びスキルアップを目的として、毎年、各種のイベントを企画・運営しています。イベントは、若手会の運営委員（若手会有志から構成）が、一人でも多くの若手弁理士に楽しんでいただけるよう、アイデアを出し合っています。若手会の大まかな活動内容につきましては別ページの「クラブ活動報告（新人）」をどうぞご覧ください。

当ページでは、既に実施した、または、今後実施予定の若手会主催のイベントを紹介いたします。

1 春の交流イベント実務修習コンプリート慰労会

3月

本イベントは、実務修習を終えたばかりの弁理士の卵が当クラブに親しみを感じていただけるよう、実務修習修了生と若手弁理士との交流を目的として開催しました。

会場は、グランフロント大阪の「世界のビール博物館」で、令和7年の実務修習修了生5名と、若手会員6名の計11名の方々にご参加いただきました。登録手続きや実務に関する話題に加え、プライベートなお話まで、さまざまなテーマで交流が深まりました。また、当日は、会場に居合わせたマジシャンの方がテーブルに立ち寄ってくださり、目の前でマジックを披露してくださいました。思いがけない偶然でしたが、参加者一同が大いに盛り上がりました。

さらに、数名の実務修習生が運営委員に立候補してください、有意義な会になりました。



実務修習生と若手会員との交流的一幕

2 新人歓迎パーティ

6月

新人歓迎パーティーは、弁理士登録を終えたばかりの新人弁理士同士が、若手会員やベテラン会員と親睦を深める恒例イベントです。新人の方々に楽しい弁理士生活のスタートを切っていただき、当クラブの雰囲気を体験していただくことを目的としています。

本年度も、ここ3年にわたって利用している堂島にある「リストランテ・クロノス」にて開催いたしました。新人6名、会員18名の計24名にご参加いただきました。

パーティーの冒頭では、新人の皆様にお一人ずつ自己紹介を頂き、弁理士としての抱負を語っていただきました。乾杯後は、和やかな雰囲気の中で歓談が始まりました。

中盤には、景品をかけて、若手会主催イベントで人気の余興「知財しりとり」を実施しました。これは、知的財産関連の用語を使ったしりとりで、事前に設定されたドボンワードを避けながらチームでポイントを競い合うゲームです。参加者は5チームに分かれ、コアなワードで華麗にドボンを回避するチームや、逆に大量のドボンの連発で最下位に沈むチームなど、白熱した戦いが繰り広げられました。各チームともに知財ワード選定で盛り上がり、会場は大きな熱気に包まれました。1年ぶりの開催となった知財しりとりは、参加者同士の一体感を深める非常に盛況なイベントとなりました。



パーティー終了後に、記念撮影

3 研修イベント後の 交流会

8月(予定)

本年度は、新たな試みとして、研修幹事主催の勉強会(2025年8月22日(金)開催予定)終了後に、若手会主催で交流会を実施する予定です。

若手会員も参加しやすく、かつ講師の先生とも直接交流できる場を提供することで、より実りある学びと親睦の機会となることを目指しています。詳細は改めてご案内いたしますので、どうぞ奮ってご参加ください。

4 アフタヌーンティ会

10月(予定)

本年度のさらなる新たな試みとして、アフタヌーンティ会の開催を予定しています。本稿執筆時点(7月中旬)では詳細未定ですが、ホテルでの開催を検討しています。

本イベントでは、お酒を飲まれない方や、小さなお子様がいる平日や夜間の交流会への参加がむずかしい方々にも気軽にご参加いただけるよう企画を進めています。続報をどうぞ楽しみにお待ちください。

5 忘年会

12月(予定)

本年度も、例年どおり、12月に忘年会を開催する予定です。本イベントは、その年の合格者との交流会も兼ねており、多くの会員の方々にご参加いただいています。

昨年は、西梅田駅付近のイタリアンレストランにて開催し、合格者7名を含む23名が参加されました。乾杯後の歓談に続き、恒例の余興を行いました。昨年の余興はチーム対抗の「クイズ 何人いるでSHOW!？」でした。今年もみなさまに楽しんでいただける余興を実施する予定です。

今年も、合格者と会員間での交流を深められるように、若手運営委員一同で楽しい企画を練ってまいります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

今後も、様々なイベント企画に挑戦してまいりますので、会員の皆様も、登録年数に関係なく、どうぞ気軽にご参加を検討いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

クラブ活動報告

Club Activity Report

【選 対】 選対担当副幹事長 臼井 尚

本年度の選対担当副幹事長を務めさせて頂いております臼井尚です。

西日本弁理士クラブは、日本弁理士会に有能な人材を輩出し、もって弁理士業界の発展に寄与することを目的の一つとしています。毎年秋に行われる日本弁理士会次年度役員（会長（2年に1度）、副会長、監事、常議員）定時選挙は、上記の目的を達成するために、当クラブにとって最も重要な行事の一つです。

選対担当の主な活動は、名前が示す通り選挙対策、すなわち、いかにして優秀な人材を送り出し、選挙になった際にはいかにして勝つかということです。選対担当は、幹事長および幹事会と密に連携しながら、万全の態勢で選挙を迎えるべく準備を行い、投票依頼を行い、得票を取り纏めることを最も重要な責務としています。

選対担当の主な活動は以下のとおりです。

1. 現役員慰労・新役員激励会の運営

当年3月末日をもって退任される現役員の先生方を慰労するとともに、4月に着任される新役員の先生方を激励すべく、毎年3月に行われます。日本弁理士会の運営・執行は精神的にも肉体的にも負担の大きい重労働であり、特に西日本在住の役員の先生方にとっては地理的不利もあります。このような重責を任期である1年間または2年間担われた先生方を慰労するとともに、これからの任期の間、重責を担われる先生方を激励することが、本会の趣旨です。

本年度は3月7日に、昨年度と同様、大阪市北区にある「帝国ホテル大阪」にて、主役である当クラブ選出の役員の先生方はもちろんのこと、日本弁理士会役員や他会派の先生方をお招きし、盛大に本会を開催しました。本会では、アトラクションとして関西大学応援団バトン・チアリーダー部「HELIOS」の皆様にチアリーディングを披露していただき、大変華やかな雰囲気になりました。

さらに、翌日3月8日には、兵庫県神戸市にある「六甲国

際ゴルフ倶楽部」にて役員慰労激励ゴルフコンペを開催しました。本コンペを楽しみにされている先生方も多く、日頃ご一緒しない他会派の先生方とプレーするのは大変有意義で、広い見識を得るための良いチャンスかと思われます。

2. 臨時総会後の懇親会の運営

8月1日に行われた当クラブの臨時総会において、当クラブが選出・推薦する次年度役員定時選挙の立候補予定者が承認されました。その後に行われた懇親会では、立候補予定者の先生方を会員の皆様にお披露目するとともに、役員選挙を支える参謀団が紹介されました。

3. 次年度役員定時選挙の準備

西日本弁理士クラブは現在、約700名の会員を有します。選対担当幹事は、当クラブ選出の立候補者の全員当選を至上命題として、会員への投票の呼びかけおよび当クラブ選出の立候補者への投票を依頼します。選挙活動は、万一にも選挙違反の問題が生じないように、決められた期間内に決められた範囲内で行わなければなりません。選対担当幹事は、選挙活動を熟知したベテランの先生方のアドバイスをいただきながら、この役員定時選挙の準備を最も重要な責務として適切に遂行します。

4. 最後に

一年を通じて、選挙に関わる情報を収集し、状況を把握することも選対担当幹事の仕事です。そのため、東京の会派や各地域の行事への出席、交流、人脈作りも重要です。これらの下準備が、選挙の際に活かされます。

本年度の選対担当幹事は、鳥居和久会員、吉本力会員、北村吉章会員、松下計介会員そして臼井です。当クラブの存在意義が最も問われる選挙を抜かりなく行うため、一致団結して頑張りますので、何卒ご支援のほどお願い申し上げます。

[渉 外] 渉外担当副幹事長 鈴木 一晃

令和7年度の渉外担当副幹事長の鈴木一晃です。

渉外の本年度の事業計画は、「今年は当クラブのクラブ員が会長に就任するため、例年以上に積極的に活動を行う必要があります。会長による弁理士会運営に関して他会派(日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブ、東海協議会)から協力を得るべく、以下の事業計画に従って行動します。

(1) 他会派との交流を図り、他会派との友好関係をこれまで以上に深める。

(2) 政策委員会および会務検討委員会と協力して、会長による弁理士会運営に関して他会派の協力及び理解を求める。というものであり、この事業計画に基づき、7月25日現在において既に、以下のイベントに参加しました。

①東海協議会役員慰労激励会(3月7日(金))

ストリングスホテル名古屋

②日本弁理士クラブ旅行会(6月21日(土)~22日(日))

湯本富士屋ホテル

③日本弁理士クラブ夏祭り(7月23日(水))

浅草花やしき

このうち、東海協議会役員慰労激励会には村上幹事長及び北村会長をはじめ例年よりも多い11名にて参加し、日本弁理士クラブ旅行会にも村上幹事長及び北村会長を含む総勢10名にて参加し、また、日本弁理士クラブ夏祭りにも村上幹事長及び北村会長を含む総勢7名にて参加しました。

今後は、以下のイベントが予定されているため、上記渉外事業計画に基づき、適切な人選を行って参加する予定です。

④弁理士連合クラブ旅行会(9月6日(土)~7日(日))

引き続き、他の幹事の方々と力を合わせて上記事業計画の遂行に取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましては、ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【政策】

政策担当副幹事長
宮崎 栄二

本年度の政策担当副幹事長を務めております宮崎栄二です。西日本弁理士クラブ員の先生方には常日頃からお世話になっており、感謝申し上げます。

政策担当の副幹事長及び幹事は、幹事会に属しながら、政策委員会の運営をサポートさせていただいております。

政策委員会は、西日本弁理士クラブの幹事会から政策に関する諮問を受けて、その諮問事項について審議し、答申を行う機関です。諮問事項には、例えば、日本弁理士会や他会派から意見を求められる事項や、西日本弁理士クラブの活動に関する事項などが挙げられます。

政策委員会では、通常、18時半から委員が集まって議論を行っております。本年度の政策委員は、河野登夫先生、吉田稔先生、鳥居和久先生、山本宗雄先生、清水義仁先生、玉井敬憲先生、松井宏記先生、川上桂子先生、永田元昭先生、山口慎太郎先生、宇治美知子先生、中谷弥一郎先生、板谷真之先生、藤田典彦先生、矢野浩太郎先生、紀田馨先生、松下計介先生、高山和也先生、原田秀作先生、以上19名の先生方で構成されております。板谷真之先生に委員長に就任していただき委員会を運営いただいております。また、政策委員会には、委員の先生方に加え、必要に応じてオブザーバーの先生をお招きすると

もに、幹事長の村上太郎先生、政策幹事の北原宏修先生、本同信也先生、中村忠則先生、そして、宮崎も出席いたします。

本年度は、第1回の政策委員会が6月開催と遅くなりましたが、4月から西日本弁理士クラブの北村修一郎会長による日本弁理士会の活動が始まったことを含めて意見交換を行いました。そして、7月に幹事会から「当クラブが目指すべき新たな活動目標についての検討」という諮問が出されました。8月に政策委員会を開催して諮問事項を審議しましたところ、今後も意見交換を行っていきます。

政策委員会は、政策団体としての西日本弁理士クラブを支えるため活動しております。西日本弁理士クラブ員の先生方の中には縁遠い組織と感じておられるかもしれませんが、政策委員会に検討してもらいたい政策をお持ちの方や、政策に質問等をしたい方がおられましたら、遠慮なく幹事長、政策委員会の委員、担当幹事、副幹事長の宮崎にお問い合わせいただければと思います。

西日本弁理士クラブの円滑な運営と発展のため、引き続き尽力させていただく所存です。つきましては、皆様のご理解とご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

【親睦】 親睦担当副幹事長 赤木 信行

本年度は、親睦幹事として小野正明先生、富士川雄先生、水谷歩先生、荒木哲朗先生のお力添えを頂きながら、会員相互の意思疎通が図れる環境作りを進めています。当クラブの団結力を高められるよう、ベテラン・中堅・若手の縦の繋がりを深められる様々なイベント開催を企画しています。



親睦幹事4名、ゴルフ幹事の臼井先生、トラベルボックスの西村さんによる宴会受付

そのような環境作りの大きな柱であり、親睦行事の目玉となるのが、恒例の「親睦旅行会」です。今年度の旅行会は、当クラブの北村修一郎弁理士会会長の就任1年目とい

うことで東京の会派の先生を関西に招待することを主旨として、関西の主要な温泉地の1つである「おごと温泉」を選定し、7月12日(土)・13日(日)の二日間の日程で開催致しました。参加者は、東京の会派の先生を含めて計68名でした。

昨年度は観光バスで温泉地まで赴くという旧来のスタイルで開催しましたが、本年度は近場ということもあって現地に集合して夕刻より盛大な宴会を行いました。



(左から)北村先生、山本先生、小谷先生の挨拶の様子

昨年度は観光バスで温泉地まで赴くという旧来のスタイルで開催しましたが、本年度は近場ということもあって現地に集合して夕刻より盛大な宴会を行いました。



宴会参加者の全体写真

宴会は、村上太郎幹事長の挨拶に引き続き、日本弁理士会会長の北村修一郎先生にご挨拶をいただき、ご来賓の先生方（日本弁理士クラブ幹事長の長濱範明先生、弁理士連合クラブ幹事長の茜ヶ久保公二先生）によるご挨拶に続き、日本弁理士会関西会会長の山本宗雄先生による乾杯ではじまりました。宴会では雄大な琵琶湖を望む景色とともに、地元の旬の食材をふんだんに使った料理に舌鼓を打ちつつ、和やかな雰囲気の中で参加者の交流が行われました。宴会最後には、日本弁理士会副会長の小谷昌崇先生によって熱い意気込みを語っていただくとともに中締め挨拶をいただき、宴会は終了しました。

宴会後の二次会は旅館内のラウンジに移動してカラオケで大いに盛り上がり、三次会は旅館の大部屋も借り切って、当クラブの先生、東京の会派の先生が入り交じった懇親が行われました。



左：村上幹事長の熱唱の様子
右：吉竹先生と北村先生のデュエットの様子



奇跡的に撮影できていた三次会の様子

7月13日（日）は、ゴルフ組と観光組とに分かれてのレクリエーションが行われました。

ゴルフ組は、5組20名のコンペとなりました。晴天に恵まれ、雄大な比良山系を背景に、灼熱の太陽からの熱線をヒシヒシと感じながらのラウンドとなりました。ちなみにコンペの優勝者は小谷先生でした。



▲ ゴルフ組の集合写真

ゴルフ組の懇親会の様子 ▶



観光組は、観光バスを借り切り、滋賀県高島市の「マキノピックランド」周辺にあり、冬のソナタのシーンを彷彿とさせることで有名なメタセコイヤ並木を観光しました。メタセ



メタセコイヤ並木の入口



左の拡大図



売店前でたたずむ水谷先生

コイヤは、別名アケボノスギ(曙杉)とも言われ、落葉針葉樹で真っ直ぐに伸びる樹形が美しいことで知られています。観光バスは、メタセコイヤ並木の間を一旦通り過ぎた後に戻ってくるという演出を見せて、参加者の心を揺さぶりました。

琵琶湖南湖を周遊する「琵琶湖シシガン」に乗り込んで、船内でビュッフェを堪能しながらのクルージングを楽しみました。船内ではアメリカンな催しも開催され、童心に戻って非日常を満喫しました。観光ツアーに関しては下見の段階で楽しんでいたのか不安しかありませんでしたが、ご参加された先生から「楽しかった。有難う!」と言われたので嬉しかったです。



▲ 予想外に早く到着した
観光組の集合写真



◀◀ 船内でビュッフェを楽しむ先生方



旅行会以外にも今年度は、当会から輩出する本会役員をサポートする会員増を目的として、9月27日(土)~28(日)にかけてソウル旅行会、11月27日(木)に叙勲褒賞祝賀会を企画しています。その他同好会としてゴルフ同好会、麻雀同好会も例年通り活発に活動頂いています。

また、本年度は、西日本弁理士クラブ創立70周年ということで、矢野副幹事長、伊藤委員長を中心とするクラブ創立70周年記念事業実行委員会も立ち上がり、こちらの委員会にも参加しています。同委員会の第1回目の事業として2月21日(金)に「クラブ創立70周年記念ワイン会」を開催し、多数の会員にご参加いただき、ワインを心ゆくまで堪能していただきました。



ワイン会の開始直後の様子



クラブ創立70周年記念事業実行委員会の今後の活動予定として、10月4日(土)の万博会場における弁理士会のイベント後に梅田で慰労会を行い、10月31日(金)にインターコンチネンタルホテル大阪で西日本弁理士クラブ創立70周年記念祝賀会を行う予定です。順次会員の皆様へご案内して参りますので、是非気軽にご参加いただけますことを願っております。

[人事] 人事担当副幹事長 明田 佳久

本年度の人事担当副幹事長を務めさせて頂いております明田佳久です。

人事担当幹事の役割は、西日本弁理士クラブの幹事長から推薦を諮問された人事について、当クラブの人事委員会に諮り、本年度の全会委員会の委員の推薦や、次年度の副会長・監事・常議員候補の推薦、次年度のクラブ幹事長・選挙対策担当副幹事長の推薦、次年度の関西会正副会長・幹事・監査役の推薦等につき、同委員会から答申を得ることにあります。

以上の通常職務に加え、本年度並びに次年度は、日本弁理士会会長の北村修一郎会員の会長就任に伴い、会務全般が円滑かつ活発に遂行されるよう適切な人材を当クラブから各種委員、役員等に送り込む必要があります。この点を念頭において、今後も引き続き、幹事長および委員の先生方と協力して人事を進めて参る所存です。

本年度の人事委員会の構成メンバーは、田中達也委

員長、鳥居洋委員、福島三雄委員、山本宗雄委員、西野卓嗣委員、山広宗則委員、並川鉄也委員、岩井將晃委員、田中宏明委員、臼井尚委員、齊藤整委員、吉本力委員、鈴木一晃委員、小笠原宣紀委員、山内章子委員、水原正弘委員、白鹿剛委員、矢野浩太郎委員、中川秀人委員、宮下和晃委員、赤尾隼人委員、飯田淳也委員、藤本賢佑委員、以上23名の先生方です。また本年度は、熊野剛先生、青木覚史先生に人事幹事としてご協力頂いております。

西日本を基盤とする当クラブには、才能に溢れる多くの方がクラブ員として名を連ねていらっしゃいます。幅広い人材を各種委員や役員等に推薦し、皆様にご活躍頂くことこそが、当クラブひいては日本弁理士会の発展につながるものと考えております。

人事委員会からお願いにあがりました折には、まずはお話をお聞き頂き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【総務】

総務担当副幹事長
右田 敏之

本年度の総務担当副幹事長を務めさせていただいております右田敏之です。総務担当幹事は、白井宏記先生、水原正弘先生、白鹿剛先生、服部京子先生に務めていただいております、全員で総務の活動に尽力しております。

総務の役割は、クラブ活動を円滑に行うための裏方的な事務作業です。具体的には、毎月の幹事会、春の定期総会、顧問・相談役合同集会（本年度は2回行いました。）、および秋の臨時総会の会場手配・開催運営となります。また、Web会議システム（Zoom）の管理や会議設定、クラブ会員の先生方への同報メールの一斉配信等も総務が行っています。

毎月行われる幹事会に関する総務の役割は、会場の手配、オンライン会議の設定、各幹事への幹事会開催通知、幹事会で使用する配布資料の提出のお願い等です。幹事会では、副幹事長の先生方から月々の活動報告が行われ、様々な事項について審議がなされ幹事会としての決定が下されます。このような幹事会の議事録を作成し、幹事会での報告事項や審議決定事項を記録することも総務の重要な役割の1つです。

また、近年の幹事会は、日本弁理士会関西会議室でのリアル参加と、Web会議システムでのオンライン参加を併

用したハイブリッド形式で開催しております。そのため、関西地区だけでなく、四国地区、中国地区および九州地区等の遠隔地からも幹事会への参加が可能となっております。

本年度の定期総会は、3月7日に、新旧役員慰労歓迎会とともに大阪帝国ホテルにて開催されました。当日は多くの会員が参加され、活発な議論を経て、令和7年度事業計画が承認されました。秋の臨時総会は、8月1日にハイブリッド形式にて開催する予定です。臨時総会は、次年度の日本弁理士会役員候補予定者や幹事長の選出等を行う重要な場であり、円滑且つ確実に同会を運営していく必要があります。

また、顧問・相談役合同集会は、経験豊富な顧問・相談役の先生方からクラブの運営について助言をいただく貴重な場です。今年は、7月17日に開催し、多くの顧問・相談役の先輩方にご参加いただきました。

本報告の執筆時点では、総務および各幹事一丸となつて、8月に開催する臨時総会に向け、準備に当たっているところです。

今後も、微力ながら尽力して参る所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



【研修】 研修担当副幹事長 米口 麻子

本年度の研修担当副幹事長を務めさせていただいております米口麻子です。本年度の研修担当幹事は、山本英明先生に務めていただいております。

西日本弁理士クラブは、日本弁理士会へ有能な人材を輩出し、もって弁理士業界の発展に寄与することを目的の一つとしています。この責務を果たすため、研修担当は毎年以下の事業を実施しています。

1. 弁理士口述模擬試験の実施

口述試験は、弁理士試験の最後の関門ですが、その合格率は、令和4年度96.4%、令和5年度94.3%、令和6年度91.7%と近年低下しており、難化の傾向がみられます。口述試験を突破するためには、緊張しすぎないように慣れしておくことが肝心です。当クラブでは、口述試験の受験者に練習の機会を提供すべく、毎年本試験前に口述模擬試験を開催しています。最近の口述試験を経験している合格数年以内のクラブ会員に試験官役をお願いしており、本番さながらの雰囲気を作り出せるように配慮しています。

2. 弁理士試験合格者祝賀会の開催

これから弁理士として活躍しようと夢を膨らませている弁理士試験最終合格者を招待し、ホテル宴会場にて華やかな合格者祝賀会を例年開催しています。この会は、合格者と先輩弁理士であるクラブ会員との親睦の場として、さらに求職希望の合格者と求人中のクラブ会員との気軽な「お見合い」の場としても利用されています。

合格者は、実務修習の後に弁理士登録をして晴れて弁理士となりますが、合格祝賀会は、その未来の弁理士とのファーストコンタクトの場を提供し、当クラブへ興味を持っていただくきっかけとなる重要なイベントの一つです。

3. 求人特集の作成及び配布

特許事務所経営者の中には、論文試験合格レベル以上の優秀な人材をお探しの方がおられ、一方で口述模擬試験に参加される論文試験合格者、及び合格祝賀会に参加される最終合格者の中には、就職・転職に興味をお持ちの方がおられます。

そこで、当クラブでは、特許事務所と合格者との双方の利益に資する求人広告『求人特集』を製作し、口述模擬試験に参加される論文試験合格者、及び合格祝賀会に参加される最終合格者に配布しています。

4. 認定外部機関としての研修の実施

西日本弁理士クラブは、弁理士会の継続研修の認定外部機関であり、継続研修の単位を付与する研修・セミナーを企画・実行することも研修担当の責務の一つであることから、クラブ会員にとって有意義な研修・セミナーを企画できるよう検討しています。

クラブ会員の皆様におかれましては、各行事に何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。



【財務】

財務担当副幹事長
寺本 亮

本年度財務担当副幹事長の寺本 亮(てらもと りょう)と申します。

西日本弁理士クラブの活動の原資は、会員の皆様の年会費及び基金(寄付金)であり、年会費等を納入していた先生方には、大変感謝いたしております。

また、会員の皆様において多様な勤務形態が定着する状況等を鑑み、年会費に係る案内につきましては、本年度もメールにてお知らせする形態を継続しましたところ、多くの会員の皆様に適正にご対応いただき誠にありがとうございました。

しかしながら、年会費を適正に納入していただいていない会員も少数ながら居られます。つきましては、今年度の年会費の納入がまだお済でない先生方には、これを機に納入していただけますと幸いです。

財務幹事の仕事は、予算案の作成、予算の振り分け、年会費・寄付金の管理、領収書の発行等があります。中でも、年会費、寄付金の管理は、財務幹事の仕事の中でも特に重要であり、それらの納入状況を確認することが日常的な仕事となります。前年度も本稿で言及させていただいておりましたが、年会費などを納入される際には、以下の点にお気を付けいただきますようお願いいたします。

(1) 会員個人で納入される際には、弁理士登録番号を「最初に」ご記載ください!

財務管理のリストは、会員の皆様が登録番号順に並んでおり、振込人名義の最初に登録番号をご記載頂いていると、リストのチェックを最もスムーズに行うことができます。

(2) 口座名義に弁理士法人(又は事務所名、会社名等)等を含む口座からお振込みの場合は、振込人の口座名義から「ベンリシハウジン」等を省いてください!

通帳に記載される入金記録には14文字の文字数制限があり、弁理士法人等の名義が含まれたまま振込を行った場合、入金記録には「ベンリシハウジン」等が表示されてしまい、振込人(納入者)を特定することが困難になります。したがって、可能でしたら口座名義から「ベンリシハウジン」等を省いて頂き、どうしても口座名義に「ベンリシハウジン」等を含める必要がある場合には、納入者情報をすみやかにご連絡願います。また、事務所単位で年会費等を納入されている先生方におかれましては、事務所の納入担当者様へその旨お伝え願います。

(3) 納入の際には必ず金額をご確認ください!

稀ではありますが、納入額を誤って振り込まれたために、のちに差額分をお返ししなければならない場合がありますので、納入額を確実にご確認ください上でのお振込みをお願いいたします。

以上のように、年会費の納入者を確実に特定するためには、会員の皆様のご協力が必要です。したがって、弁理士登録番号の記載忘れ、納入額の誤りなどがありました場合には、すみやかにご連絡いただけますと幸いです。また、せっかく年会費を納入いただいたにもかかわらず、年会費納入の督促を誤ってお送りしてしまうこともあるかも知れません。このような場合にも、すみやかにご連絡いただけますようお願い申し上げます。

【会員管理】 会員管理担当副幹事長 齊藤 智和

本年度の会員管理担当副幹事長を務めさせていただいております齊藤智和と申します。

本年度は、本担当幹事の田中憲治先生とともに、会員管理担当の活動を行っています。

1. 活動内容

会員管理担当は、西日本弁理士クラブに入会いただいている約680名の会員の先生方の登録情報を管理することを主たる活動としています。登録情報は「西日本弁理士クラブMMS管理システム」(以下「西弁システム」といいます。)にて管理しています。会員の先生方からの変更申請があった際、西弁システムの登録情報を逐次更新しています。

2. 登録情報の更新のご協力願い

当クラブから会員の先生方に各種情報を通知する際は、西弁システムで管理されている登録情報(勤務先、住所及びメールアドレス等)に基づき通知が行われます。このため、会員管理担当では、登録情報が最新である状態を維持すべく努めています。具体的には、西弁システムの登録情報と、日本弁理士会の「弁理士ナビ」に記載の情報との付き合わせ等を会員管理担当で行っています。

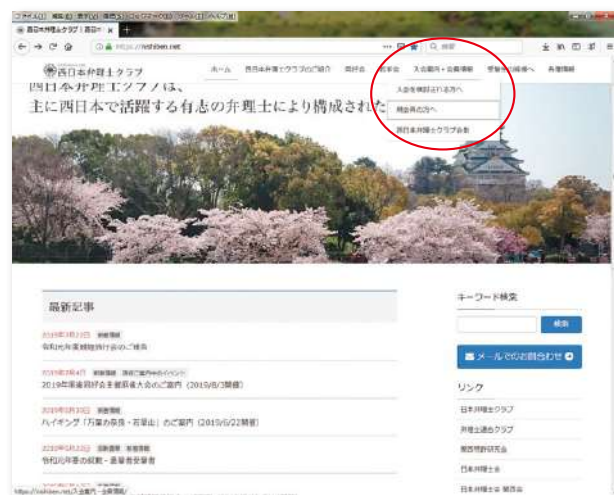
しかし、弁理士ナビに記載の情報が更新される時点との時間的差異の影響により、西弁システムの登録情報が最新である状態を常に維持することは、現状では極めて困難です。

さらに、2020年に発生した新型コロナウイルスの感染影響に伴い、2021年度から当クラブの会費納入の通知を郵送からメールに切り替えました。このため、当クラブから会員の先生方に各種情報を通知する手段は、今後もメールが主体となります。

したがって、会員の先生方にはお手数をおかけいたしますが、登録情報(メールアドレスを含む。)に変更が生じた際は、速やかに、かつ会員の先生方自ら登録情報の変更申請を行っていただきたく存じます。登録情報の変更申請の手順は、後述する「3. 登録情報の変更申請方法」をご参照下さい。会員の先生方におかれましては、登録情報の更新につきましてご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

3. 登録情報の変更申請方法

(1) 西日本弁理士クラブのホームページトップ(<https://nishiben.net>)の「入会案内・会員情報」の「現会員の方へ」のタブをクリックします。



(2) 以下のページに切り替わりましたら「変更届のお手続きはこちら」をクリックします。



(3)「変更届のお手続きはこちら」をクリックすると、以下の画面が表示されます。以下の画面にご自身の弁理士登録番号(半角数字5桁(登録番号が半角数字4桁の場合は頭に0を付す。))と、西弁システムの登録情報で管理されているメールアドレスを入力いただくとともに、「文字認証」に表示された文字を入力下さい。全て入力いただきましたら、「ログイン情報の送信」をクリックして下さい。

ここで、西弁システムの登録情報で管理されているメールアドレスが不明である場合は、西弁システムでの変更届の手続きができません。この場合は、西日本弁理士クラブのホームページの「お問い合わせフォーム」からご連絡いただきたく存じます。後日、登録情報で管理されているメールアドレスを会員管理担当から回答いたします。

(4)その直後に「西日本弁理士クラブ:ログイン情報の送付」という件名のメールが、西弁システムの登録情報で管理されているメールアドレス宛に届きます。そのメールに記載されたURLにアクセスしていただくと、以下の画面が表示されます(ご使用のPCによっては、URLにアクセスせずとも自動的に以下の画面が表示されることがあります。)。以下の画面にメールに記載されているID(半角数字;ご自身の弁理士登録番号)とパスワード(半角英数字)を入力し、「ログイン」をクリックして下さい。

(5)「ログイン」をクリックすると、以下の画面が表示されます。以下の画面に記載されている項目のうち変更対象となる項目を上書きで入力願います。入力が完了しましたら画面右上に表示されている「申請」をクリックして下さい。これで登録情報の修正作業は完了です。この手法を用いることによって、ご自身の登録情報の確認が可能です。登録情報の確認の場合は、「申請」の右隣にある「閉じる」をクリックして下さい。

【 広 報 】 広報担当副幹事長 川畑 孝二

本年度の広報担当副幹事長を務めております川畑孝二と申します。広報担当幹事は、田端豊先生、宮脇慶先生に務めて頂いており、西日本弁理士クラブの広報活動にご尽力頂いております。

広報担当の主たる活動は、ご覧頂いている西日本弁理士クラブのクラブ誌「西日本クラブ」の発行です。本クラブ誌は、年1回発行しています。本クラブ誌の発行に向けた具体的な作業は、原稿の執筆依頼、原稿の校正および編集はもちろんのこと、名刺広告や企業広告の掲載等に至るまで多岐にわたります。

本クラブ誌の発行に際して、執筆をご協力いただきました当クラブ会員の方々、名刺広告にご賛同いただきました当クラブ会員の方々、そして企業広告にご賛同いただきました法人等の方々に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、このような皆様のご協力により完成した本クラブ誌の内容につきましては、当クラブが関連する日本弁理士会役員定時選挙の情報発信に留まらず、クラブ活動報告、若手会特集、同好会だより等の記事を盛り込み、当クラブの活動内容を積極的に発信しております。

クラブ活動報告では、当クラブ各担当副幹事長の方々に、各担当の活動内容などを報告いただいています。

若手会特集では、当クラブ若手会の運営委員の方々に、若手会行事について紹介いただいています。若手会では、少しでも多くの若手弁理士に参加いただけるよう、多彩な親睦イベントが開催されております。このような若手の活気のある活動を会員の皆様には是非ともお伝えいたしたく、

ご一読いただけますと幸いです。

同好会だよりでは、各同好会に所属されている会員の方々に、活動内容を紹介いただいています。昨年北原先生のご尽力のもとで雪山同好会が復活しており、会員の皆さまの交流の場がさらに拡大しました。今後の活発な活動を期待しております。

広報担当の活動としてクラブ誌以外には、西日本弁理士クラブを紹介したパンフレットの作成を予定しています。毎年秋に弁理士試験の最終合格者向けに西日本弁理士クラブ主催の合格祝賀会が開催されます。合格祝賀会会場にてパンフレットを配布し、今後の活躍が期待される最終合格者の皆さまに当クラブの活動や魅力を伝えるようにします。

広報担当では、会員の皆様に少しでも当クラブの活動内容と魅力を知って頂けるよう、掲載記事の充実化に一層取り組んで参りますので、今後ともご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



【地域】 地域担当副幹事長 河野 広明

本年度の地域担当副幹事長を務めさせて頂いております河野広明と申します。

新型コロナウイルス(COVID-19)の分類変更から2年以上が経過し、昨今の物価高騰に悩まされながらも正常な社会経済活動がある程度戻ってきたように思われます。

西日本弁理士クラブは、日本弁理士会による各地域との連携強化を図る施策にも沿う形で、西日本の各地域相互間での交流の活発化を重要方針の一つとして活動しております。

この方針の下、現在、幹事会における「地域」担当幹事として、関西地域のクラブ会員のみならず、九州、四国及び中国の各地域のクラブ会員にもご就任頂いております。本年度は、九州地域の市川泰央先生、四国地域の山内伸先生、中国地域の田中咲江先生、関西地域の岩井将晃先生に地域担当幹事としてご尽力頂いております。

当クラブは、西は九州から東は近畿までの広範囲に及びますが、地域担当幹事の先生方との間でウェブ・ミーティングや電話・メールを積極的に活用することにより、クラブ会員相互間の緊密で充実した交流の実現に向けて施策を企画・実行してまいります。

本年度は、地域イベントを次のとおり開催いたしました。

●九州地域でのリアル研修会・交流会の開催

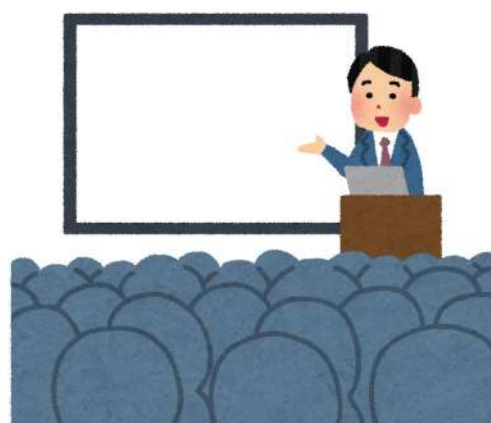
コロナ禍以前と同様に、昨年度から一年に一回のペースで、中国、四国、九州のうち何れか一つの地域を幹事会メンバーが訪問する交流会を開催することとしております。

交流会をさらに充実したものとすべく、本年度も、九州地

域において交流会とともに研修会を実施いたしました。

具体的には、2025年8月8日(金)に、福岡県福岡市の福岡朝日ビル(博多駅近く)において、知財判例研究の第一人者であり、実務の第一線でもご活躍の弁護士・弁理士高石秀樹先生(中村合同特許法律事務所パートナー)に、近年で特に注目すべき最高裁判決(ドワンゴ判決vsFC2事件)を含む様々な裁判例について、我々実務家にとって大変有益なご講演(タイトル:「外国サーバ問題」～外国から国内への有体物送付の場合との対比、一部国外実施事案の諸外国判決、商標事案との対比を含めて～)をいただきました。

今後も引き続き、各地域のクラブ会員皆様のご意見をお伺いしながら、当クラブの組織や活動方針を適宜見直し、日本弁理士会への提言なども進めて参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



【新人】 新人担当副幹事長 関口 皓太

本年度の新人担当副幹事長(若手会リーダー)を拝命いたしました関口皓太でございます。こちらの誌面をお借りしまして、「若手会」の紹介をいたします。

1. 若手会について

若手会は、西日本弁理士クラブ会員のうち弁理士登録10年以内の会員によって構成される組織です。該当の会員は、自動的に若手会員となります。

若手会の活動目的は、若手弁理士が日本弁理士会の会務を含む各方面で活躍するための足掛かりを提供することです。2004年度の活動開始以降、20年以上にわたって若手弁理士の親睦及びスキルアップの場を提供してまいりました。

2. 活動内容について

若手会は、主に以下の3種類のイベントの企画・運営をしています。今年度の具体的なイベントについては、別ページの「若手会特集」にて紹介しておりますので、どうぞご覧ください。

①新人歓迎イベント

前年度の合格者を対象とするイベントにより、新人のクラブ入会数確保に努めております。合格者数の減少や実務修習のオンライン化に伴い、近年は主にSNS等での周知活動を強化しております。

②会員間の親睦イベント

若手のみならず、若手とベテランとの交流を支援すべく、様々なイベントを企画・開催しております。過去には、サマーパーティ、ワイン会、ゴルフコンペ、忘年会等を開催しており、今年は新たにアフタヌーンティ会を計画しております。

③研修イベント

講師を招いたり、若手が自ら講師を担当したりすること

で、主に若手弁理士のスキルアップを支援しております。

3. 若手会の運営について

若手会のイベントは、若手会員の有志メンバーである「若手会運営委員」が企画・運営しております。本年度は、新人担当平幹事3名を含む11名のメンバー(2025年7月現在)が活動しております。

現在、月1回程度の運営会議と、メーリングリストやSNS上でのやりとりにて、各人が案を出し合ってイベントの準備を進めています。メーリングリストだけでなくグループLINEも活用することで、簡単なことはすぐに意思決定がなされるように心がけています。

運営会議は、基本的には、対面にて行っています。私自身が小さい子供を抱えていることもあって、オンラインで行うこともあります。オンライン会議は対面と比べて気軽ですが、運営委員同士での結束を向上するためには対面が好ましいと考えています。

私は現在で運営委員3年目なのですが、その活動を通じて、様々な弁理士に巡り会い、事務所にこもっているだけでは経験できなかった様々な学びが得られていると感じています。

運営委員は、随時、新メンバーを募集しております。

新人・若手弁理士の皆様、少しでも若手会のイベント企画等に興味を持たれましたら、是非、お近くの運営委員にお声掛けください。運営会議の見学も随時受け付けております。

最後になりましたが、当クラブ会員の先生方には、日頃から若手会の活動へのご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆様に楽しく参加いただけるようなイベントを今後も企画してまいりますので、どうぞ応援のほど宜しくお願い申し上げます。

ハイキング 同好会



板谷 真之

ハイキング同好会は、年1回、関西周辺でハイキング及び懇親会を開催しています。歩いて身体に心地よい疲労をかけて、その後の懇親会では美味しい料理にお酒を楽しむことが当同好会の趣向です。

コロナ禍後は、2023年から活動を再開し、最近では、2024年11月30日に神戸でハイキングを開催しました。

昼過ぎに神戸三宮駅で集合して、北野坂を上って異人館街を歩き、新神戸駅から北へ抜けて、布引の滝のハイキングコースに入ります。

ハイキングコースでは、雌滝、鼓ヶ滝、夫婦滝と、生田川中流にかかる滝々をめぐり、布引の滝の中で最も大きな雄

滝は、見応え十分でした。なお、布引の滝は「日本三大神滝」の一つで、日本の滝100選にも選ばれているということです。更に登ってたどり着いた布引ダムは、日本最古の重力式コンクリートダムで、国の重要文化財とのこと。程よく紅葉したハイキングコースを進み、神戸布引ハーブ園に到着しました。帰路は、神戸布引ロープウェイで、これまで登ってきた道のりを、数分でいっきに下山し、三宮駅周辺で懇親会を行いました。

2025年も秋頃にハイキング同好会の開催を予定しておりますので、お手元に案内文が配信されましたら、奮ってご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



テニス 同好会



田中 聡

テニス同好会では、年1回、会員および関係者の親睦を深めることを目的にテニス会を開催しています。参加者のレベルを問わず、楽しく体を動かし、終了後には懇親会を行い、好評をいただいております。

次回のテニス会は、2025年10月から2026年2月までに開催する方向で準備を進めております。近年、夏は非常に暑く、冬は厳しく冷え込む日が多いため、屋外でのテニスには適さない時期が増えています。そこで、会場はこれまでと同様に大阪市東淀川区にある「ダイドーインドアテニスクラブ」を予定しており、屋内コートで気温に左右されず

快適にプレーしていただけます。

日程等の詳細につきましては、2025年10月以降にメール等で会員の皆様にお知らせいたします。

また、テニス同好会の運営を一緒に盛り上げてくださる若手スタッフも随時募集しております。ご関心のある方はお気軽にご連絡ください。

最後になりましたが、テニス会には当クラブの会員でない方の参加も可能です。会員・非会員を問わず、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



麻雀 同好会



矢野 浩太郎

皆さんこんにちは!

西日本弁理士クラブ・麻雀同好会の矢野浩太郎です。

私たち麻雀同好会は、年に1~2度の麻雀大会を通じて、クラブ会員同士の交流と親睦を図るべく、日々静かに熱く活動しております。

去る6月7日、2025年度第1回大会が開催されましたので、ここにご報告申し上げます!

■第三次麻雀ブーム到来!?

近年はプロリーグ「Mリーグ」の盛り上がりを筆頭に、街ではキッズ向けの麻雀イベントが開かれるなど、まさに“麻雀新時代”が幕を開けつつあります。

私も時折雀荘に足を運びますが、若い世代や女性プレイヤーも増えていて、打ち場の空気もどこか明るく健やか。かつての“紫煙と鉄火”の世界が懐かしくもあり、移り変わりの時代を感じます。

■いざ開幕!初夏の知略バトル

そんな麻雀熱が高まる中、今年の大会にも16名のお申込みをいただき、当日は15名が参戦。

会場はおなじみの「となり堂島」さんを貸し切り! 静かで落ち着いた空間の中、牌の音と笑い声が交差する、心地よいひとときとなりました。

〈参加者(敬称略)〉

川原 和也、中尾 真一、吉田 稔、田中 達也、松下 正、矢野浩太郎、森 俊也、橋本 卓行、佐々木 健一、北原 宏修、大塚 雅晴、西村 竜平、久米 裕二、宮崎 栄二、竹下 明男

今回の大会形式は、15名による東風戦7回戦。毎回3名の抜け番が発生する形式でしたが、抜け番中は麻雀談義に花が咲くなど、思いのほか好評!

「この手、どう切る!?!」「それ止める!?!」など、打牌に一喜一憂する声が飛び交い、場はまさに大盛り上がり。

プレイスタイルは実に多彩で、笑い声とユーモアに包まれながらも、それぞれが真剣そのもの。

愚痴やため息とは無縁の“前向き雀風”こそ、我らが西弁の伝統なのかもしれません。

■激戦!点棒が舞うスリリングな攻防

今回は役満の炸裂こそなかったものの、赤ドラありのルールが功を奏し、各卓で高得点の応酬が続発!

1戦ごとに大きく順位が入れ替わる、まさに紙一重の戦い

となりました。

そんな白熱の7戦を経て、結果は…!?

最終順位	氏 名	ポイント
1 位	吉田 稔	68.6
2 位	西村 竜平	65.8
3 位	中尾 真一	59.5
4 位	北原 宏修	39.4

見事優勝に輝いたのは吉田 稔 先生!

トロフィーに加え、副賞として「焼肉セット」が贈られました。また2位以下の方も順位賞やブービー賞、水平賞が贈られました。



■打って楽しい、語って二度おいしい

対局中の真剣勝負はもちろんのこと、終了後の“感想戦”もまた麻雀大会の醍醐味。

あの一打はどうだった、あそこで振り込んだのは誰だった…といった話で盛り上がり、まるで時間が巻き戻されたように、学生時代に戻った気分になれます。

「昔ちよっとかじっただけ…」そんな方もぜひ、ふたたび牌を握ってみませんか?

点数計算が不安でも大丈夫。卓には必ず“頼れるひとり”がいて、自然と助け合いの輪が生まれるのも同好会のいいところなんです。

■つながる麻雀、つづくご縁

西日本弁理士クラブ・麻雀同好会では、麻雀を通じて会員同士の新たなつながりや、気軽な交流の場を提供しています。

技術や法律の話をし脇に置いて、「次、東家誰や?」から始まる会話に加わってみませんか?

牌がつながる縁も、なかなか味わい深いものですよ。

ゴルフ 同好会



白井 宏紀 / 川畑 孝二

パテントマスターズ2025 西弁優勝 2連覇達成!!

パテントマスターズは、西弁を含む全国の8つの会派間で親睦を深めつつ競い合う団体戦です。本年は、6月14日(土)に静岡県伊豆大仁カントリークラブにて開催されました。総参加者は77名で、西弁からは、遠方での開催にもかかわらず総勢17名、関東や東海の会派よりも多く最大派閥でした!

我々西弁は、決戦前夜、熱海で前夜祭を開催し、参加者同士の親睦を深めるとともに、互いに士気を高め、前回優勝に続く2連覇を誓いました。

当日は、天候に恵まれ、絶好のゴルフ日和でした。参加人数の割合からしてほとんどの場合、関東や東海の初対面となる先生とのラウンドになりますが、紳士でフレンドリーな先生方ばかりであるため、ラウンドを通して親しくなれることがパテントマスターズの大きな魅力でもあります。

肝心の成績です。団体戦は、各会派の上位5名のグロススコアの合計で競います。結果は、冒頭のとおり、西弁が優勝を飾り、前回2024年に続き2連覇を達成しました!西弁は2017年にも優勝しており、今回で3回目の優勝となります。また、個人戦、ニアピン、ドラコンなどでも、西弁の参加者が多くの賞を勝ち取りました。伊豆でのとても楽しい思い出と、2連覇達成などの華々しい戦果を引っ提げて意気揚々と帰阪できました。

来年もパテントマスターズが開催されることと思いますが、新たな参加者、大歓迎です、是非ご参加ください。お待ちしております。そして、共に優勝、3連覇達成を目指しましょう!



順位	団体名	グロス合計
優勝	西 弁	422
準優勝	P A	425
3位	弁 ク	433
4位	同 友	462
5位	無 名	462
6位	東 海	464
BB賞	春 秋	467
8位	稲門・南甲	549

競技者名	グロス
田中 達也	79
小澤 壮夫	84
北原 宏修	84
永田 元昭	87
白井 宏紀	88

その他、ゴルフ同好会では、年に3~4回の定例コンペを開催しています。本年度は、第1回に有馬ロイヤルゴルフクラブにて桜を愛でながら、第2回にアートレイクゴルフ倶楽部にて初夏の太陽のもとで、それぞれ熱戦が繰り広げられました。誰でも優勝の可能性のあるスコア集計方式を採用しておりますので、ゴルフ初心者からベテランまで皆さまに楽しんで頂けるようになっています。今後は9月に第3回コンペが予定されています。新たな参加者、大歓迎!!お待ちしております!!!



雪山 同好会



北原 宏修

皆様ご承知の通り、当同好会はスキー同好会の後継に当たり、昨年末に復活いたしました。現在の会員は、望月孝道先生、松下正先生、鈴木一晃先生、森脇靖子先生、熊野剛先生、そして、小生こと北原宏修の計6名です。まだまだ会員を募集していますので、ご興味がある方は気軽に北原(kitahara@alatana-ip.jp)までご連絡ください。なお、雪山の楽しみ方は人それぞれです。このため、スキーやスノーボードなどの滑走器具で滑走したい方のみならず、スノーシューを履いて雪山トレッキングしたい方なども対象とさせていただきます。この点、ご承知おきください。

では、以下に先シーズンの活動報告をさせていただきます。

まず、昨年(2019)の11月29日に会員の顔合わせの会を行い、そこで参加者に今後の活動方法についてご相談させていただきました。せっかくなら飛行機を利用して北海道や東北地方ぐらまで行きたいとのご要望をいただきました。これについては、次のシーズンで実現したいと考えております。

次に、他会派のスキー部所属の方々と懇親を図ると共に他会派のスキー部の運営方法を視察する目的で、今年の1月24日(金)～26日(日)に春秋会の志賀高原スキーツアーに、2月14日(金)～16日(日)にPA会の白馬五竜スキーツアーに、2月28日(金)～3月2日(日)に春秋会・

PA会合同の尾瀬岩倉スキーツアーに参加してきました。なお、弊クラブの会員にも声掛けしましたが、これらのツアーへの参加希望者がいなかったため、小生一人で参加してきました。春秋会の志賀高原スキーツアー、PA会の白馬五竜スキーツアーには目的地までの移動手段として自家用車を利用し、春秋会・PA会合同の尾瀬岩倉スキーツアーでは目的地までの移動手段として鉄道(新幹線を含む)・バスを利用しました。ちなみに、いずれのツアー参加者も世代が近いこともあってか、全員スキーヤーという今日では珍しい状況となりました。

春秋会のスキーツアーでは、2日目に嗜好別にグループ分けした後に、各グループに一名インストラクターを付けてそのインストラクターにレッスンしていただきながら楽しくスキーをさせていただきました。PA会のスキーツアーでは基本的に滑走自由で、参加者の皆さんと広いゲレンデをクルージングしながら楽しく滑走することができました。また、いずれのスキーツアーでも夜は宴会で盛り上がり、春秋会、PA会の方々と懇親を深めることができました。

来る次のシーズンでは、初の当クラブのスキーツアーを実現すると共に、先シーズンと同様に他会派所属の弁理士との交流を図っていきたいと思っています。



永 田 良 昭

福 島 三 雄

北 村 光 司

藤 本 昇

小 松 陽 一 郎

田 中 達 也

植 木 久 一

吉 田 稔

高 山 裕 貢

杉 本 勝 徳

久 保 幸 雄

コンサル業務の市場化を!

上 羽 秀 敏

上 代 哲 司

山 本 宗 雄

村 上 太 郎

河 野 登 夫

伊 藤 英 彦

中 川 雅 博

松 尾 憲 一 郎

原 田 洋 平

椿 豊

宮崎 栄二

渥美 元幸

齊藤 整

玉井 敬憲

佐々木 真人

大田 英司

小谷 昌崇

納谷 洋弘

白井 宏紀

田村 啓

藪 慎吾

山尾 憲人

小澤 壯夫

鈴木 泰光

川畑 孝二

熊野 剛

臼井 尚

水原 正弘

永田 元昭

北原 宏修

川原 和也

白 鹿 剛

近 藤 充 紀

平 田 裕 子

中 村 忠 則

服 部 京 子

北 村 吉 章

大 上 雅 史

田 端 豊



西日本弁理士クラブ会員名簿

会員数：681名(正会員数：656名・準会員数：25名・若手会会員数：136名)
(2025年8月22日現在)

6232	古田 剛啓	8776	西川 恵清	10307	田中 達也	11590	三輪 英樹	12716	本間 政憲	13837	齊藤 整
6474	深見 久郎	8781	岡本 昭二	10323	高山 裕貢	11630	和田 等	12756	酒井 善典	13841	北田 明
6486	奥村 文雄	8798	福井 宏司	10351	岡本 寛之	11657	羽立 幸司	12779	平田 晴洋	13856	小山 泰一
6519	森脇 康博	8867	吉竹 英俊	10378	西津 千晶	11686	田邊 義博	12805	加治 隆文	13887	大塚 雅晴
6525	大森 忠孝	8880	山本 宗雄	10442	梶崎 弘一	11704	森脇 正志	12892	納谷 洋弘	13895	末次 渉
6672	丸山 敏之	8886	西野 卓嗣	10444	上羽 秀敏	11709	岡田 充浩	12895	藪 慎吾	14107	小林 元悟
6730	安藤 順一	8922	山内 康伸	10445	喜多 秀樹	11711	秋山 文男	12914	山本 淳也	14129	今村 文典
6774	永田 良昭	8946	溝上 哲也	10456	大西 正夫	11737	中尾 真一	12954	谷田 龍一	14165	大田 英司
7050	石田 俊男	9006	中川 博司	10458	宮崎 伊章	11765	高垣 泰志	12964	皆川 祐一	14174	富永 浩司
7116	清水 久義	9018	山田 義人	10459	森住 憲一	11766	竹下 明男	12979	川本 真由美	14184	久徳 高寛
7197	谷 良隆	9031	木村 正俊	10494	豊栖 康司	11767	中島 了	12999	田中 米蔵	14185	吉本 力
7213	大和田 隆太郎	9045	竹内 耕三	10517	山広 宗則	11804	西谷 浩治	13000	垣木 晴彦	14202	鈴木 一晃
7221	辻本 一義	9069	中前 富士男	10567	梶 生長	11868	田村 啓	13010	宇治 美知子	14207	板谷 真之
7346	松本 武彦	9140	伊藤 英彦	10569	明田 莞	11878	桂川 直己	13012	赤木 信行	14212	新田 研太
7375	大岩 増雄	9146	石井 久夫	10584	神保 泰三	11959	長塚 俊也	13014	前田 健吉	14221	小笠原 宜紀
7405	三原 靖雄	9168	吉川 俊雄	10602	稗苗 秀三	11972	辻本 希世士	13016	田中 宏明	14225	桑原 薫
7420	鎌田 文二	9270	渡邊 隆文	10609	松村 直都	12001	八木 敏安	13017	中谷 弥一郎	14232	田中 陽介
7433	藤本 昇	9272	岸本 忠昭	10651	松谷 道子	12033	小澤 壯夫	13019	松永 充弘	14235	鞍掛 浩
7540	植木 久一	9273	吉田 昌司	10696	村上 真人	12034	安田 幹雄	13056	金高 善子	14236	白井 宏紀
7555	西教 圭一郎	9279	松田 正道	10730	北村 修一郎	12035	三宅 一郎	13065	鈴木 泰光	14257	水内 龍介
7631	薦田 正人	9295	古谷 栄男	10742	城村 邦彦	12051	筒井 雅人	13121	石川 克司	14260	小林 由佳
7640	杉本 勝徳	9305	杉谷 勉	10747	橋本 薫	12066	川上 桂子	13141	道坂 伸一	14269	新井 景親
7747	玉利 富二郎	9399	田中 秀佳	10748	大塩 竹志	12078	並川 鉄也	13151	東田 進弘	14293	戸高 弘幸
7779	中野 収二	9421	安倍 逸郎	10759	村上 太郎	12081	岡本 敏夫	13218	松本 康伸	14294	京和 尚
7806	三輪 鐵雄	9447	神野 直美	10781	関 章	12094	熊野 剛	13224	岡部 博史	14307	竹原 懋
7828	山本 秀策	9491	村上 啓吾	10791	笠原 英俊	12103	太田 誠治	13225	吉田 環	14308	藤飯 章弘
7881	上代 哲司	9552	高良 尚志	10808	中野 睦子	12118	山根 広昭	13238	竹中 郁也	14318	長野 篤史
7886	河野 登夫	9567	小林 良平	10852	中川 雅博	12120	岩井 将晃	13250	山内 哲文	14321	中島 由賀
7891	鈴木 由充	9583	細田 芳徳	10876	望月 孝道	12138	山下 託嗣	13309	中田 幸治	14335	両部 奈穂子
7923	神崎 彰夫	9604	塩入 みか	10973	岡崎 豊野	12144	西村 竜平	13324	寺田 花子	14346	竹尾 由重
7938	西藤 征彦	9615	伊藤 孝夫	10991	清水 義仁	12148	谷村 敏博	13367	野村 慎一	14371	土谷 和之
8003	原 謙三	9643	笹原 敏司	11026	松本 好史	12150	後藤 高志	13391	佐藤 興	14386	富田 光治
8016	松尾 憲一郎	9679	森下 八郎	11028	藤川 義人	12160	永田 元昭	13466	永井 道彰	14476	中条 均
8018	渡辺 三彦	9717	平野 一幸	11078	椿 豊	12172	井関 勝守	13475	渡辺 隆一	14500	藤本 好信
8062	矢野 壽一郎	9797	谷口 由記	11098	加藤 敬子	12294	岡崎 博之	13495	松永 英幸	14515	佐々木 美紀
8079	高島 一	9882	西野 吉徳	11103	前堀 義之	12302	渥美 元幸	13501	西田 隆美	14540	山尾 憲人
8181	早瀬 憲一	9950	加藤 久	11124	荒川 伸夫	12308	勝見 元博	13538	臼井 尚	14560	楠屋 宏行
8202	竹安 英雄	9987	黒瀬 靖久	11125	宮崎 栄二	12390	竹添 忠	13570	岡部 英隆	14594	一角 哲也
8207	清原 義博	9988	高田 健市	11198	小川 稚加美	12392	井崎 愛佳	13578	西原 広徳	14602	田村 善光
8208	玉田 修三	9993	清水 敏	11202	玉井 敬憲	12403	立花 顕治	13581	華山 浩伸	14679	川畑 孝二
8283	森本 邦章	10000	原田 洋平	11262	富田 克幸	12404	松本 尚子	13583	大南 匡史	14730	井上 知哉
8437	板谷 康夫	10009	宮野 孝雄	11271	松山 隆夫	12452	佐々木 真人	13585	田中 康継	14770	多田 裕司
8454	小森 久夫	10015	鮫島 睦	11285	武藤 正	12453	山田 裕文	13603	白井 あゆみ	14813	森本 聡
8520	森岡 博	10048	藤田 隆	11289	松井 宏記	12458	石川 竜郎	13606	十河 誠治	14815	石村 知之
8521	鳥居 洋	10056	岡田 正広	11291	中野 晴夫	12464	赤岡 和夫	13608	本同 信也	14818	森 俊也
8531	福島 三雄	10101	松下 正	11317	稲葉 和久	12472	谷 和紘	13609	北野 修平	14827	山内 聡
8553	内山 邦彦	10132	川崎 実夫	11442	薬丸 誠一	12473	正津 秀明	13618	羽立 章二	14847	大川 博之
8590	小松 陽一郎	10135	辰巳 忠宏	11443	中谷 寛昭	12511	坂田 泰弘	13631	北原 宏修	14848	本田 順一
8634	鮫島 武信	10145	山田 卓二	11447	政木 良文	12518	二口 治	13635	高尾 建吾	14898	前田 礼子
8638	吉田 稔	10160	盛田 昌宏	11450	山本 俊則	12545	河野 広明	13662	鎌田 光宜	14899	菱田 高弘
8639	香山 秀幸	10163	廣瀬 峰太郎	11453	森 寿夫	12570	坂根 剛	13706	五郎丸 正巳	14912	安田 恵
8683	塩入 明	10168	奥田 誠司	11455	河野 英仁	12631	山口 慎太郎	13714	玉串 幸久	14920	市川 泰央
8693	久保 幸雄	10170	中井 信宏	11461	眞下 晋一	12667	福本 将彦	13715	脇坂 祐子	14925	山下 耕一郎
8753	鳥居 和久	10178	奥村 秀行	11466	内野 美洋	12671	溝口 督生	13724	田中 勝也	14936	植田 慎吾
8757	松川 克明	10182	大前 要	11514	野田 慎二	12677	品川 永敏	13759	音野 太陽	14950	沖本 周子
8766	中井 宏行	10204	北村 光司	11538	小谷 昌崇	12693	太田 隆司	13763	丹野 寿典	14976	京村 順二
8770	稲岡 耕作	10301	中嶋 隆宣	11548	林 雅仁	12695	梶田 泰司	13764	吉武 賢一	14983	森定 勇二

15007	藤原 賢司	16230	北野 善基	17572	高木 秀文	19455	謝 博超	20684	津田 愛子	22150	式見 真行
15015	堀家 和博	16268	吳 英燦	17589	原 一敬	19467	青木 覚史	20718	岡村 朋	22154	白江 雄介
15027	白井 里央子	16270	市川 久美子	17596	千葉 美奈子	19477	田中 憲治	20766	瀬川 左英	22157	林 康次郎
15035	若間 理佐	16276	宇佐美 綾	17610	小田 晃寛	19504	森本 淳史	20782	尾畑 誠治	22177	川島 祥一
15050	森本 靖	16300	飯田 昇	17630	福成 勉	19505	森田 海幹	20802	高山 和也	22250	甲斐 一真
15062	岸本 智久	16308	荒木 哲朗	17633	杉本 弘樹	19532	森 博	20829	清原 直己	22262	朴 辰珠
15102	前田 幸嗣	16318	松永 裕吉	17647	秋山 信彦	19533	仲 達也	20835	小西 崇仁	22288	早川 康
15109	齊藤 尚男	16339	有近 康臣	17671	山本 健一郎	19537	上田 知恵	20880	撫佐 郁夫	22305	新川 達也
15165	兼本 伸昭	16342	住井 宏顕	17838	多良 毅	19566	片岡 泰明	20977	藤本 知志	22317	山田 祥延
15176	河合 永文	16346	西尾 光彦	17858	行武 孝	19593	高橋 忠孝	20991	岩田 悟	22377	中野 弘章
15187	鶴 寛	16355	清水 三沙	17951	中尾 慎	19597	本多 伸介	21016	原 智典	22463	海老 冴佳
15208	伏木 和博	16366	吉田 泰格	17956	津田 恵	19635	北村 吉章	21018	三方 英美	22465	野口 晴加
15218	大久保 秀人	16367	松田 裕史	17964	田中 咲江	19637	森田 恭允	21025	大古場 ゆう子	22480	森山 彰子
15228	砂川 博	16394	田中 成幸	18029	平田 裕子	19639	萩森 学	21132	佐藤 剛洋	22483	田平 誠
15257	新宅 将人	16414	松井 幸典	18050	畑山 吉孝	19652	小原 玄嗣	21153	植田 亨	22494	廣田 武士
15401	正木 裕士	16511	川原 和也	18052	梶谷 美道	19658	古山 裕	21178	米澤 武彦	22521	原田 秀作
15402	田中 聡	16568	田中 信治	18064	崎山 博教	19662	松下 計介	21255	内田 俊生	22529	福西 雄大
15409	大島 一宏	16575	藤田 典彦	18077	中塚 淳次朗	19721	松下 竜介	21339	小澤 淳	22532	黒川 陽一
15452	三上 祐子	16581	中野 賢太	18107	巴山 俊成	19745	徳永 弥生	21341	安田 裕貴	22565	榎本 啓介
15456	佐伯 直人	16589	坂田 啓司	18159	庄野 寿晃	19755	津留 寛樹	21342	福島 正憲	22589	南部 洋一郎
15468	山内 章子	16677	右田 敏之	18163	原 晶子	19758	高岡 健	21349	松野 陽介	22608	三好 健策
15470	齊藤 真大	16681	白鹿 剛	18167	飯田 貴敏	19766	久米 哲史	21367	小用 広隆	22740	平林 郁人
15472	宮地 正浩	16688	大西 憲明	18208	中道 佳博	19812	前井 由香里	21381	中田 淳	22767	福田 光起
15478	太田 知二	16696	矢野 浩太郎	18209	中村 忠則	19827	渡辺 健一	21385	山邊 邦夫	22793	山口 司樹
15489	谷口 聡	16712	古賀 隆嗣	18223	見方 良二	19891	富樫 征也	21388	大上 雅史	22817	近藤 充紀
15491	吉田 秀幸	16730	種村 一幸	18236	中川 秀人	19916	和田 康史	21414	藤原 尚恵	22843	石川 皓平
15497	三輪 雅彦	16783	仲石 晴樹	18237	服部 京子	19931	竹内 寛	21440	大西 一郎	22870	関口 皓太
15510	木村 厚	16784	小羽根 孝康	18242	富永 宗平	19936	玉井 尚之	21458	西田 直樹	23017	田中 湧一郎
15521	中村 泰弘	16796	扇谷 一	18289	向林 伸啓	20060	齊藤 智和	21485	内田 誠	23020	山田 克樹
15522	市岡 牧子	16804	小淵 景太	18304	石井 隆明	20142	井上 健太郎	21487	赤尾 隼人	23040	伊井 亨
15545	野口 祐輔	16809	鈴木 伸太郎	18326	中谷 剣一	20144	上田 耕生	21505	稲田 菜摘	23058	趙 冬林
15567	光明寺 大道	16821	大村 和史	18327	山田 裕三	20147	清水 博司	21554	伊藤 茂稔	23060	富永 剛史
15574	水尻 勝久	16827	古田 昌稔	18358	岡野 真人	20163	桑垣 善行	21647	瀬戸 麻希	23103	正村 智彦
15575	坂口 武	16832	山本 敦	18434	川崎 茂雄	20166	川添 昭雄	21677	三品 明生	23133	豊川 哲也
15580	平木 健氏	16834	奥田 利枝子	18577	辻 淳子	20221	松田 美幸子	21720	前田 直	23222	明河 一彦
15609	森脇 靖子	16837	藤原 清隆	18695	杉原 了一	20266	橋本 卓行	21735	飯田 淳也	23238	宇根 愛理沙
15613	小野 正明	16839	阪部 正規	18739	上西 敏文	20294	壺井 健一	21736	田端 豊	23282	水谷 歩
15614	落合 康	16879	丸山 英之	18741	正司 武嗣	20296	大西 陽子	21746	鶴崎 一磨	23288	久米 裕二
15615	水原 正弘	16935	中西 輝	18757	柳瀬 智之	20307	高橋 大輔	21763	榎原 比呂志	23291	渡辺 憲
15646	桑城 伸語	16990	村井 康司	18759	浅田 瑠衣	20350	中川 美和	21774	松本 浩一	23300	永田 杏子
15662	西本 泰造	16992	中西 康文	18785	細田 芳弘	20368	平松 拓郎	21791	中村 亮太	23330	山内 仁史
15678	富永 賢二	17052	笹倉 真奈美	18791	佐竹 星爾	20384	木村 優美	21813	近田 暢朗	23331	坂根 海志
15702	森嶋 正樹	17092	大橋 誠	18793	澤村 英幸	20473	岩河 実紗	21820	井谷 俊悟	23332	塚本 悠介
15726	谷村 昌宏	17223	岩木 宣憲	18824	丹生 哲治	20482	渡辺 健一	21834	春田 康秀	23433	樋口 宗隆
15742	大池 聞平	17327	紀田 馨	18906	教村 香織	20502	西田 佳子	21851	藤本 賢佑	23450	山下 真侑
15795	稲井 史生	17416	水谷 馨也	18955	徳山 英浩	20523	山田 喜道	21908	永峰 幸江	23558	大西 佑樹
15854	小川 博生	17426	東野 匡容	18974	坪内 寛	20584	中本 周平	21912	中垣 雄一郎	23571	山下 諒子
15878	寺本 亮	17427	八木 祥次	18978	佐々木 健一	20598	野口 大輔	21913	鶴 善一	23572	橋立 優
15991	石川 貴之	17482	治下 正志	18986	下田 正寛	20600	坂上 有美	21931	米口 麻子	23583	間崎 剛
16061	藤野 睦子	17509	稲山 史子	19003	谷 豊文	20614	大釜 典子	21933	森下 藍子	23584	能勢 政典
16121	片桐 務	17512	藤川 順	19016	隅田 俊隆	20618	幅 敦司	21935	竹内 美保	23623	佐瀬 奈帆
16125	明田 佳久	17515	山下 広大	19281	庄司 倫子	20619	山本 直樹	21961	富士川 雄	23631	田中 遼介
16128	木村 正彦	17516	吉田 裕志	19282	富田 憲司	20622	谷水 慎	21962	中村 努	23654	近藤 孝四郎
16174	地代 信幸	17540	山内 伸	19283	山野 有希子	20638	出井 康博	22008	永濱 一貴	23679	西山 彩
16188	北出 英敏	17561	三崎 正輝	19443	宮下 和晃	20652	川瀬 直樹	22048	笹沼 崇		
16202	岩本 泰雄	17565	迫田 恭子	19445	大森 勇	20675	宮脇 慶	22133	福原 充子		
16224	木村 豊	17566	山本 英明	19446	杉浦 健文	20676	黒川 惇	22137	岡崎 信治		

団体旅行・個人旅行 まずはご連絡下さい

楽しい旅! をモットーにスピードをもってお世話します

<<平成19年から【西日本弁理士クラブ】親睦旅行会でお世話になっております>>

JTB・日本旅行 等各社パンフレット旅行予約OK!

平成10年5月設立



TB 株式会社トラベルボックス

大阪府知事登録旅行業第3-1934号

全国旅行業協会正会員 ジェイアイ傷害保険代理店

〒553-0004

大阪市福島区玉川4丁目12番11号 玉川ビル1F

電 話 **06-6443-8005**

ファックス **06-6443-8006**

E-mail: nishimura-hisa@travelbox.co.jp

担当: 西村 久司 携帯: 090-2384-8955



意匠写真 のことならおまかせ下さい!

〈立体商標写真、知的所有権侵害事件証拠写真等、撮影承ります〉

- ◎オンライン出願ソフトで検証済みの意匠データを納品致します。
- ◎部分意匠の着色写真等承ります。
- ◎キズ消し、デフォルメ等の修正に対応致します。
- ◎日本はもちろん、米国、欧州、中国、韓国等、諸外国の規則に対応した出願用写真を作成致します。

創業60年の信頼と実績・サービス第一



ヌマナミ フォト スタジオ

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町4-2-4

TEL (06) 6623-0541 FAX (06) 6629-4759

E-mail numanami@xj8.so-net.ne.jp

登録番号: T6810594183204

特許翻訳はサン・フレアにお任せください!

常に安定した高い翻訳品質

- **知財専門**の登録翻訳者2,000名の中からご案件に最適な翻訳者をアサイン
- 分野に適したチェック担当者による**言語・技術**両面での精密チェックでさらに品質アップ!



+



+



翻訳者

校正者

チェッカー

2段階で
しっかり
チェック!

ITを活用したコストカット

- 独自の**解析ツール**で翻訳資産の再利用によるお値引きをご提案!
- **校正ツール**により人の目では見落としやすいミスを防止



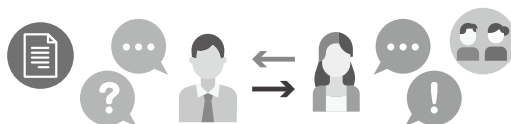
多言語対応

- **中国語、韓国語**はもちろん、**タイ語、ベトナム語、ドイツ語、スペイン語**など様々な国の特許翻訳をサポート!



小回り抜群のサービス

- お客さま**専用指示書**の作成
- **翻訳者指名OK**
- **対訳形式ファイル**の作成 ...etc.
柔軟に対応!



特許翻訳件数
年間
約12,000件

登録翻訳者数
(特許分野)
2,000名の
キャパシティ

ISO9001
認証に沿った
安心の
品質保証

ISO27001
認証に基づいた
セキュリティ
体制

特許翻訳
約50年
の実績



〈人・夢・ことば〉で織りなす
株式会社サン・フレア

西日本支店

☎ 06-6233-6700 担当: 藤山

✉ sf-patent@sunflare.co.jp

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-3-22 淀屋橋山本ビル10F

<https://www.sunflare.com>

サン・フレア 🔍

印刷でトラブルを
かかえた経験
ありませんか？

そのトラブル当社が
解決できるかも
しれません。

ご愛顧いただき創業57年

総合印刷 **ビジネス誠文社**

事務所 〒569-0013
高槻市野田3丁目11-21
TEL.072-674-0364
FAX.072-675-3129

工場 〒569-0012
高槻市東天川3丁目13-8
TEL.072-676-5186
FAX.072-676-5185

E-mail seibunsysa_1@quartz.ocn.ne.jp

編集後記

ご多忙な先生方の強力なご協力のもと、迅速に原稿が集まり、予定通りクラブ誌発行ができますことにまず心よりお礼申し上げます。

年々、暑さが尋常でなくなり、各地で雨などによる大きな災害、生態系の変化が熊による被害など以前であれば考えられないことが起こっています。

また、今年7月に実施された参議院選挙の結果からも社会の大きな変革が起きていると感じられます。

さて、そのような中でも大阪では、春に2025大阪・関西万博が開幕し、予想を覆る人気、自衛隊ブルーインパルスによる華麗なアクロバット飛行に心躍ろかされるなど、10月の閉幕までまだまだ楽しめるイベントがありそうです。

私も5月に行きましたが、子供から高齢者まで楽しめるしかけがあり、個人的には、チェコ館が大変気に入りました。全体は、アートなテイストで親しみやすくし、その中に、ウランガラス・3Dプリンターの展示もあり、新旧のテクノロジーもうまく織り交ぜてありました。

その大阪・関西万博の共創パートナーとして日本弁理士会も取組み、会長を擁している西日本弁理士クラブでも大いに関与して、未来の技術、グローバルイノベーション推進の担い手としての役割を果たしていかなければならないと感じております。

選挙特集では、先生方の日本経済成長への熱い思いとそのために日本の技術と発明を守り、社会への啓発を行っていく強い意気込みを感じました。

組織力・コミュニケーションを大切にし、多忙な中、同好会や懇親会、若手会も積極的に開催されています。このような活動がこれからの下支えとなり、弁理士業界の発展につながると感じております。

最後になりましたが、本誌発行にあたり、名刺広告や企業広告に出稿いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

今号よりPDFでの発行としました。ご覧になったの率直な感想、忌憚のないご意見をお待ちしております。皆様、引き続きよろしくお願いいたします。

西日本弁理士クラブ

第49号(通巻89号)2025年9月9日

発 行	西日本弁理士クラブ
発行責任者	幹事長 村上 太郎
文書責任者	選対担当副幹事長 臼井 尚
編 集	大阪府中央区内平野町2-1-2 アイエスビル4階 KTSIP Osaka特許事務所内
編集責任者	川畑 孝二
印 刷	ビジネス誠文社
表紙デザイン	デザインK&K



西日本弁理士クラブ